

科目名	自主社会活動		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学内外での以下にあげるような条件に合う経験にもとづく学びに対して単位として認める科目であるため、このための定時の授業は行わない。しかし、事前・事後のレクチャーならびに打ち合わせ、活動日誌・レポートの作成・提出、報告会での発表は、単位認定に必要な条件である。

科目の概要

学生が学内外における社会的な活動を35時間以上、無償で行い、それについて活動日誌・レポートを作成・提出し、かつ、学内の報告会で発表した場合に、担任など担当教員が評価して1単位を与える。

活動の場と内容は、学外においては、地域活性化のプロジェクト、社会福祉施設、児童館などの教育施設の活動、NGO・NPO、国際NGOなどが行うイベントのサポートなど様々なボランティア活動、学内については、留学生支援ボランティアなどである。

学修目標

学生が自らの意志で参加したプロジェクトやその他の社会的な活動に参加して、大学の授業内の体験では経験できないことからの気づきや学びの獲得を目標とする。

内容

学内、学外における無償の利他的なプロジェクトへの参加、社会的活動などを、以下の3つの条件に合わせて行うこと。

35時間以上の活動であり、活動を通したゴール設定がなされている。(活動先に評価を依頼)

その内容、自分自身が学んだこと、提案などについて活動日誌・レポートを作成し、提出すること。

学内の発表会で報告すること。

履修に際して、事前・事後のレクチャーと打ち合わせを行う。

活動日誌・レポート:所定の書式に沿ってまとめる。構成・フォーマット、提出先、発表会の日程などについては、就職支援課に確認すること。

評価

活動受け入れ先の責任者(または担当者)から提出してもらった評価、本人が作成する活動日誌・レポートの内容、口頭発表にもとづいて、総合的な評価を行い、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】活動やプロジェクトの概要を理解し、その活動から何を体験し学びに結び付けられるかを考え、目標設定を行う。体験によるリスクについて考え、その回避法や管理について明確にし報告する。

【事後学修】活動の概要と学びについての報告をまとめ、発表報告会を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個々に応じて説明を行う。

科目名	自主社会活動		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学内外での以下にあげるような条件に合う経験にもとづく学びに対して単位として認める科目であるため、このための定時の授業は行わない。しかし、事前・事後のレクチャーならびに打ち合わせ、活動日誌・レポートの作成・提出、報告会での発表は、単位認定に必要な条件である。

科目の概要

学生が学内外における社会的な活動を35時間以上、無償で行い、それについて活動日誌・レポートを作成・提出し、かつ、学内の報告会で発表した場合に、担任など担当教員が評価して1単位を与える。

活動の場と内容は、学外においては、地域活性化のプロジェクト、社会福祉施設、児童館などの教育施設の活動、NGO・NPO、国際NGOなどが行うイベントのサポートなど様々なボランティア活動、学内については、留学生支援ボランティアなどである。

学修目標

学生が自らの意志で参加したプロジェクトやその他の社会的な活動に参加して、大学の授業内の体験では経験できないことからの気づきや学びの獲得を目標とする。

内容

学内、学外における無償の利他的なプロジェクトへの参加、社会的活動などを、以下の3つの条件に合わせて行うこと。

35時間以上の活動であり、活動を通したゴール設定がなされている。(活動先に評価を依頼)

その内容、自分自身が学んだこと、提案などについて活動日誌・レポートを作成し、提出すること。

学内の発表会で報告すること。

履修に際して、事前・事後のレクチャーと打ち合わせを行う。

活動日誌・レポート:所定の書式に沿ってまとめる。構成・フォーマット、提出先、発表会の日程などについては、就職支援課に確認すること。

評価

活動受け入れ先の責任者(または担当者)から提出してもらった評価、本人が作成する活動日誌・レポートの内容、口頭発表にもとづいて、総合的な評価を行い、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】活動やプロジェクトの概要を理解し、その活動から何を体験し学びに結び付けられるかを考え、目標設定を行う。体験によるリスクについて考え、その回避法や管理について明確にし報告する。

【事後学修】活動の概要と学びについての報告をまとめ、発表報告会を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個々に応じて説明を行う。

科目名	キャリアサポート		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

全学共通科目「キャリア教育」の選択科目

科目の概要

企業で活躍する女性ををお招きし、仕事への取り組みやワークライフバランスなど職業生活をどのようにデザインしているかを学ぶ。社会人からの学習を自分につなげ、自分自身のキャリアデザインを行う。

学修目標 (= 到達目標)

社会人からの学びを基本に、自分の職業イメージ形成とキャリアプラン作りを行う。

内容	
1	オリエンテーション、「キャリアサポート」での学びの構え、型を学ぶ
2	ワークショップの型を学ぶ、ファシリテーション技術を学ぶ
3	キャリアと人生について考える (人の幸せとは)
4	女性として働くとは (様々な働き方の選択を考える)
5	企業研究の方法と良い企業の見つけ方
6	ゲストから学ぶ 1
7	理想の自分像をデザインする
8	ゲストから学ぶ 2
9	自分の軸を創る
10	ゲストから学ぶ 3
11	理想の自分になるためのアクション
12	ゲストから学ぶ 4
13	フューチャーマップ
14	ゲストから学ぶ 5
15	キャリアサポート学びの振り返り

評価

授業への参加度：振り返りメールをポイント化 (60%)、適宜行う課題の評価 (30%)、最終テストの評価 (10%)。以下、提出物等の評価は、振り返り...1~7ポイント (提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント (6回以上[授業2回につき1つ程度課す) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】各回の事前課題教材の学習。

【事後学修】【事後学修】振り返りとして48時間以内に学びの内容や各自の気づきをメールで提出。フォーマットはインストラクションで解説。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に関連の本や資料を紹介する。

科目名	シーズンスポーツ		
担当教員名	山本 悟、平田 智秋、千足 耕一、渡邊 孝枝 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - シーズンスポーツ		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

3泊4日の雪上実習と3回の事前オリエンテーションを通じて、スキーやスノーボードの基礎技術はもとより、集団生活を通じて自律した行動・態度を身につける。

科目の概要

本学湯の丸山荘（長野県）に宿泊し、湯の丸スキー場においてスキーもしくはスノーボードの実習を行う。

学修目標

- 自然との関わりの深いスキーやスノーボードの特性について理解し、その知識と技術を身につける。
- 自然界のすばらしさと厳しさを味わい、生涯を通じて自然に親しむ態度を養う。
- 健康管理への気付き、学年や学科を超えた交流の中から仲間意識を高める。

内容

実習を通じて、以下の技能を体得する；

スキー初級

雪や用具になれる：スキーの着脱、転倒起立、歩行、方向変換、推進滑降、登行
初歩的な滑降：直滑降、プルーク、プルーク・ボーゲン

スキー中級

基本的な構えとスキー操作を学ぶ：斜滑降、横滑り、山回り、プルーク・ターン
リズムとバランス感覚を学ぶ：シュテム・ターンなど

スキー上級

スピードをコントロールし、回転動作を洗練する：パラレル・ステップターン
制限コースや雪質、斜面などへの対応力を高める：制限滑降、深雪滑降

スノーボード初級

装備の着脱、転び方と起き方、スケータリング
リフトの乗り降り、サイドスリップと木の葉落とし（かかと、つま先の両側で）

スノーボード中級

Jターン（かかと、つま先の両方で）、ノーズドロップ
ずらしを利用した連続ターン

スノーボード上級

カービングターン、大回りと小回り

評価

オリエンテーションへの参加と、実習における技能習得や生活態度およびレポートを総合して評価し、60%以上の評価を合格とする。

授業外学習

【事前予習】事前オリエンテーションで紹介した推薦書の自主的講読（30～60分）。

【事後学修】実習のまとめとして指示したレポートの作成、提出（2時間）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】オリエンテーションで紹介し、推薦する。

【備考】・実施時期：平成30年2月中旬に3泊4日で実施。履修人数を30～35名程度に制限する予定。

・実施場所及び宿泊施設：湯の丸スキー場、本学湯の丸山荘。

・実習参加費（予定）：35,000円程度（宿泊費・3泊9食、交通費、保険料、リフト代、用具レンタル代等）～ウェアのレンタルは無い（各自で準備）。

・受講希望者は後期履修登録前に行うオリエンテーションに必ず参加すること。

科目名	女性を学ぶ		
担当教員名	齋藤 麗子、布施 晴美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 A		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人生80年時代と言われる中で女性の平均寿命はさらに延びている。しかし、健康で自立している健康寿命はそれほど延びているとは言えない。健康寿命を延ばすには若い時からの生活習慣や健康に関する知識が重要となる。

科目の概要

講師が医師、保健師、栄養士それぞれの立場から女性の健康維持に関する話題提供を毎回行い、多くの資料を基に皆で考えていく。

学修目標 (= 到達目標)

自分の健康は自分で守り、さらに将来の職業人として、また家庭人として正しい健康維持に関する知識を習得し、実践する。

内容	
1	健康寿命を伸ばす為の生活習慣。皮膚の清潔とスキンケア (齋藤)
2	女性に多い骨粗しょう症予防 (齋藤)
3	食中毒から身を守るために (齋藤)
4	食べるということは (徳野)
5	健康を維持するための食について (徳野)
6	女性に多い病気の予防のための食について (徳野)
7	喫煙の女性や次世代への影響 (齋藤)
8	受動喫煙の無い社会とは (齋藤)
9	女性ホルモンと月経 (布施)
10	女性の体と妊娠・出産 (布施)
11	婦人科の病気 (布施)
12	アルコールとの付き合い方 (齋藤)
13	おしゃれ障害について (齋藤)
14	性感染症の予防 (齋藤)
15	まとめの発表会 (齋藤・徳野・布施)

評価

毎回の終了時の小問題または振り返りの感想文と出席回数を加味して評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前に提示される教科書の項目を読む

【事後学修】毎回の振り返りのレポート提出

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】東京教学社発行「女性と健康」

【推薦書】授業内で指示

【参考図書】授業内で指示

科目名	女性を学ぶ		
担当教員名	齋藤 麗子、布施 晴美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 A		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人生80年時代と言われる中で女性の平均寿命はさらに延びている。しかし、健康で自立している健康寿命はそれほど延びているとは言えない。健康寿命を延ばすには若い時からの生活習慣や健康に関する知識が重要となる。

科目の概要

講師が医師、保健師、栄養士それぞれの立場から女性の健康維持に関する話題提供を毎回行い、多くの資料を基に皆で考えていく。

学修目標 (= 到達目標)

自分の健康は自分で守り、さらに将来の職業人として、また家庭人として正しい健康維持に関する知識を習得し、実践する。

内容	
1	健康寿命を伸ばす為の生活習慣。皮膚の清潔とスキンケア (齋藤)
2	女性に多い骨粗しょう症予防 (齋藤)
3	食中毒から身を守るために (齋藤)
4	食べるということは (徳野)
5	健康を維持するための食について (徳野)
6	女性に多い病気の予防のための食について (徳野)
7	喫煙の女性や次世代への影響 (齋藤)
8	受動喫煙の無い社会とは (齋藤)
9	女性ホルモンと月経 (布施)
10	女性の体と妊娠・出産 (布施)
11	婦人科の病気 (布施)
12	アルコールとの付き合い方 (齋藤)
13	おしゃれ障害について (齋藤)
14	性感染症の予防 (齋藤)
15	まとめの発表会 (齋藤・徳野・布施)

評価

毎回の終了時の小問題または振り返りの感想文と出席回数などで評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前に提示される教科書の項目を読む

【事後学修】毎回の振り返りのレポート提出

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】東京教学社発行「女性と健康」

【推薦書】授業内で指示

【参考図書】授業内で指示

科目名	女性としごと		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 A		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

4年生以上、全学共通科目「十文字学」の「A 女性を学ぶ」の選択科目。

科目の概要

女性が働くことの意味や目的を考えるとともに、自分自身のライフプランを設計する。結婚、出産、育児などの家庭生活と仕事をどう捉えていきたいか。将来を見据えた自己分析を通して、自らのキャリアデザインを考える。統計情報から働く女性の動向を把握するとともに、ポジティブ・アクションや仕事と家庭の両立支援といった女性の活躍を推進する政策、女性労働に関する法的な変遷を学習した上で、固定観念に囚われない自分らしい職業選択について考える。

学修目標

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わっている。女性も男性も、社会的・文化的性差（ジェンダー）にとらわれない多様な生き方が現れ始めている。それを可能とする考え方、新たな制度の成立などを知ること、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信を持って積極的に社会参加できるよう、自己決定力を高めることをめざす。

内容

1	(大友・松本) オリエンテーション、科目と担当の紹介、十文字こと先生のアニメビデオ視聴
2	(大友) 十文字こと先生の生き方に学ぶ
3	(大友) 女性のライフコース・パターン
4	(大友) 女性のライフイベント (1) - 配偶者選択と結婚
5	(大友) 女性のライフイベント (2) - 妊娠と出産
6	(大友) 夫婦のパートナーシップ
7	(大友) 高齢化とジェンダー
8	(大友) ライフプラン総括
9	(松本) 働くこととは - 働き方の選択肢について考える
10	(松本) 女性の能力を生かすこととは - ウーマノミクスを考える
11	(松本) 自らをマネジメントする - 意思決定のための基礎知識
12	(松本) 優れたコミュニケーションと女性のリーダーシップ
13	(松本) 人生をマネジメントする - 働く女性と法律・政策
14	(松本) 自己実現への挑戦
15	(松本) キャリアデザイン総括

評価

ライフプランを総括する筆記試験40点、キャリアデザインを総括する筆記試験40点、15回を通じての受講態度20点、合計100点として、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前期オリエンテーションで配布される冊子『夢の実現と未来へ』『建学理念の作文コンクール入賞作品』を読み、建学理念の理解に基づいて、自身のライフプランとキャリアデザインを考えながら受講すること。

【事後学修】授業時に推薦書・参考図書が紹介されるので、各自で学びを深めること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】

内閣府（2016）『男女共同参画白書 平成28年版』。

内閣府（2016）『平成28年版 少子化社会対策白書』。

P・F Drucker、上田惇夫訳（2000）『プロフェッショナルの条件』ダイヤモンド社。

青木幸弘、女性のライフコース研究会編（2008）『ライフコース・マーケティング』日本経済新聞社。

科目名	女性としごと		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 A		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

4年生以上、全学共通科目「十文字学」の「A 女性を学ぶ」の選択科目。

科目の概要

女性が働くことの意味や目的を考えるとともに、自分自身のライフプランを設計する。結婚、出産、育児などの家庭生活と仕事をどう捉えていきたいか。将来を見据えた自己分析を通して、自らのキャリアデザインを考える。統計情報から働く女性の動向を把握するとともに、ポジティブ・アクションや仕事と家庭の両立支援といった女性の活躍を推進する政策、女性労働に関する法的な変遷を学習した上で、固定観念に囚われない自分らしい職業選択について考える。

学修目標

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わっている。女性も男性も、社会的・文化的性差（ジェンダー）にとらわれない多様な生き方が現れ始めている。それを可能とする考え方、新たな制度の成立などを知ること、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信を持って積極的に社会参加できるよう、自己決定力を高めることをめざす。

内容

1	(大友・松本) オリエンテーション、科目と担当の紹介、十文字こと先生のアニメビデオ視聴
2	(大友) 十文字こと先生の生き方に学ぶ
3	(大友) 女性のライフコース・パターン
4	(大友) 女性のライフイベント(1) - 配偶者選択と結婚
5	(大友) 女性のライフイベント(2) - 妊娠と出産
6	(大友) 夫婦のパートナーシップ
7	(大友) 高齢化とジェンダー
8	(大友) ライフプラン総括
9	(松本) 働くこととは - 働き方の選択肢について考える
10	(松本) 女性の能力を生かすこととは - ウーマノミクスを考える
11	(松本) 自らをマネジメントする - 意思決定のための基礎知識
12	(松本) 優れたコミュニケーションと女性のリーダーシップ
13	(松本) 人生をマネジメントする - 働く女性と法律・政策
14	(松本) 自己実現への挑戦
15	(松本) キャリアデザイン総括

評価

ライフプランを総括する筆記試験40点、キャリアデザインを総括する筆記試験40点、15回を通じての受講態度20点、合計100点として、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前期オリエンテーションで配布される冊子『夢の実現と未来へ』『建学理念の作文コンクール入賞作品』を読み、建学理念の理解に基づいて、自身のライフプランとキャリアデザインを考えながら受講すること。

【事後学修】授業時に推薦書・参考図書が紹介されるので、各自で学びを深めること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】

内閣府（2016）『男女共同参画白書 平成28年版』。

内閣府（2016）『平成28年版 少子化社会対策白書』。

P・F Drucker、上田惇夫訳（2000）『プロフェッショナルの条件』ダイヤモンド社。

青木幸弘、女性のライフコース研究会編（2008）『ライフコース・マーケティング』日本経済新聞社。

科目名	女性のからだと心		
担当教員名	内田 伸子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 A		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

十文字学の「A. 女性を学ぶ」領域の中の1科目

科目の概要

女性のからだと心について、生涯発達の視点から最新の研究成果に基づいて展開する。ホルモンや脳の働きが女性のからだの発達にどのように影響していくのか明らかにする。現代に生きる女性としてのアイデンティティの確立においても、健やかな生活と的確な他者理解においても、心身に関する正確な知識と実践の方法が重要である。これらの基本的知識を体系的に学ぶとともに、リプロダクティブヘルス/ライツ、セクシュアル・アイデンティティについて理解する。

学修の目標

生涯発達の視点から、女性のからだと心について、考察ができる。

女性がよりよく生き、よりしなやかに、グレイスフルに生きる力を獲得するとは、どのようなことが、自分の考えをもつことができる。

内容

講義終了後には、毎回講義に関するレポート提出を課しています。单元ごとに専門とするゲストスピーカーの先生が登壇し講義をします。

1	女兒と男兒の性差 生物学的性差と社会的性差の発生過程
2	女の子・男の子になる分かれ道
3	女性の歩行運動の生理学的基礎 美しい歩行のしくみを探る
4	女性と男性の会話 会話は権力具現化の装置か
5	よりよい出会いをもとめて 『恋愛』に実態はあるか
6	親になること 女性の出産・希望の光
7	母親になること 子育てを通して女の子・男の子の違いを知る
8	母性の発達 親子関係のきりむすびの鍵
9	地域の中での母親と子育て支援
10	女性とキャリア 職業と家庭の両立
11	女性と喫煙 女性の健康寿命伸延との関係を探る
12	女性と福祉 現代社会のリスクに備えるために
13	中年期女性がよりよく生きるために 食心理学からみた女性のQOL
14	女性のからだところ しめくくりのシンポジウム (第1講~第6講)
15	女性のからだところ しめくくりのシンポジウム (第7講~第13講)

評価

各テーマごとの課題(50点)および最終レポート(50点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書の各单元に関わる章をよく読んでから出席すること。読んでいることを前提に授業を展開します。教科書の章末質問の回答もノートに書き込んでおくこと。

【事後学修】授業の最後には学生によるシンポジウムがあります。そこに向けて、関心のある单元についてさらに自分で課題を見つけ、調べていきましょう。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】内田伸子編著（2012）：

「女性のからだところ—自分らしく生きるための絆をもとめて」 金子書房

科目名	文学と女性		
担当教員名	樋口 一貴		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-共通科目-十文字学A		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本美術の中で女性はどのようにあらわされてきたかについて、特に浮世絵というジャンルをとりあげて、その展開を学ぶ。

科目の概要

造形芸術においては、洋の東西を問わず古代より人体を表現することは中心的なテーマの一つであった。その中で、江戸時代の風俗画における女性の描かれ方を考察する。

学修目標(=到達目標)

浮世絵の歴史、浮世絵美人画というジャンルについて学ぶとともに、その表現が年代とともにいかに変化してゆくか考察を深める。

内容	
1	女性を描いた絵画の歴史
2	浮世絵とは
3	近世初期風俗画
4	岩佐又兵衛
5	浮世絵版画の誕生
6	菱川師宣
7	肉筆浮世絵と宮川長春
8	錦絵
9	鈴木春信
10	勝川春章
11	鳥居清長
12	喜多川歌麿
13	葛飾北斎
14	渓斎英泉と幕末の浮世絵
15	まとめ

評価

授業への参加度20%、授業内レポート20%、筆記試験60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】各回の授業で扱う浮世絵師の作品を画集等で確認しておくほか、機会があれば美術館になるべく足を運んで実

作品を鑑賞する

【事後学修】ノートを見返して、絵師とその作風について見直しておき、わからないことは調べておく。また、関心をもった事項については、書籍などで理解を深める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配布する

【参考図書】授業内で指示する

科目名	新座から学ぶ		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 B		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、学生の皆さんの自主的な学修態度を形成すること、自ら学び、自ら表現する学生を育てることを目指しています。「入門ゼミナール」等で学んだ埼玉や新座周辺の歴史、地理、文化を基盤として、様々な分野の学生たちがともに学ぶことにより、人間的な交流のすばらしさを実感してもらいます。平成23(2011)年度～平成26(2014)年度入学生から開講される共通科目【十文字学】の中の、「新座から学ぶ」と同時に開講します(平成22年度以前入学生は「経営経済学基礎」と同時開講です)。

埼玉や新座に関する歴史・地理・文化についての最新情報をゲスト講師から伺う前半と、受講生同士がグループを作って、プロジェクト研究をする後半とで構成します。終盤には、グループでのプロジェクト研究の成果を発表する機会をつくります。

受講生同士が人間的な交流を深めること、埼玉や新座の地理・歴史・文化について疑問に思ったことを課題として、グループごとに研究を深め、発表すること、学生としての研究的な態度を身につけること、将来埼玉や新座周辺などの地域で活躍できる人材を育てること、などが目標です

内容

【留意点】

平成22(2010)年度以前に入学した学生は、「経営経済学基礎」として受講することが出来ます。

平成23(2011)年度～平成26(2014)年度までに入学した学生は、十文字学(共通教育)「新座から学ぶ」として履修登録します。

【内容】

大学が立地する埼玉県新座市とその周辺を教材とし、プロジェクト研究を行います。

講義の前半部分では、新座市教育委員会生涯学習スポーツ課学芸員の斯波治さんに来ていただく予定です。

中盤からは、前半の講義を参考にしながら、グループごとに埼玉の地理・歴史・文化についての疑問点、研究課題を決めて活動します。

4名程度のグループを無作為に作って、活動します。

後半では、グループごとのプロジェクト研究結果の発表会を行います。

グループ内のメンバーで協力し、埼玉県や新座市に対しての提言をまとめてもらいます。

学生の皆さんが、新鮮な目で新座市やその周辺地域を眺め、課題を発見し、その解決方法を提案します。

発表会では、前半部分でゲストとしてきていただいた方にも参加していただく予定です。

みなさんは、新座や埼玉を覗き窓にして、日本や世界、宇宙へとひろがる課題を発見し、研究することになります。

仲間とともに楽しい勉強空間を創り上げましょう。

評価

毎回の課題(20%)、最終プレゼンテーション(80%)とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】埼玉や新座周辺などの地域に関する歴史、地理、文化に関する文献、資料を読む。

【事後学修】講義中に取り扱った内容に関する文献や資料を探し、課題を深めてみる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用しません。

推薦書は適宜講義中に説明します。

科目名	新座から学ぶ		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 B		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、学生の皆さんの自主的な学修態度を形成すること、自ら学び、自ら表現する学生を育てることを目指しています。「入門ゼミナール」等で学んだ埼玉や新座周辺の歴史、地理、文化を基盤として、様々な分野の学生たちがともに学ぶことにより、人間的な交流のすばらしさを実感してもらいます。平成23(2011)年度～平成26(2014)年度入学生から開講される共通科目【十文字学】の中の、「新座から学ぶ」と同時に開講します(平成22年度以前入学生は「経営経済学基礎」と同時開講です)。

埼玉や新座に関する歴史・地理・文化についての最新情報をゲスト講師から伺う前半と、受講生同士がグループを作って、プロジェクト研究をする後半とで構成します。終盤には、グループでのプロジェクト研究の成果を発表する機会をつくります。

受講生同士が人間的な交流を深めること、埼玉や新座の地理・歴史・文化について疑問に思ったことを課題として、グループごとに研究を深め、発表すること、学生としての研究的な態度を身につけること、将来埼玉や新座周辺などの地域で活躍できる人材を育てること、などが目標です

内容

【留意点】

平成22(2010)年度以前に入学した学生は、「経営経済学基礎」として受講することが出来ます。

平成23(2011)年度～平成26(2014)年度までに入学した学生は、十文字学(共通教育)「新座から学ぶ」として履修登録します。

【内容】

大学が立地する埼玉県新座市とその周辺を教材とし、プロジェクト研究を行います。

講義の前半部分では、新座市教育委員会生涯学習スポーツ課学芸員の斯波治さんに来ていただく予定です。

中盤からは、前半の講義を参考にしながら、グループごとに埼玉の地理・歴史・文化についての疑問点、研究課題を決めて活動します。

4名程度のグループを無作為に作って、活動します。

後半では、グループごとのプロジェクト研究結果の発表会を行います。

グループ内のメンバーで協力し、埼玉県や新座市に対しての提言をまとめてもらいます。

学生の皆さんが、新鮮な目で新座市やその周辺地域を眺め、課題を発見し、その解決方法を提案します。

発表会では、前半部分でゲストとしてきていただいた方にも参加していただく予定です。

みなさんは、新座や埼玉を覗き窓にして、日本や世界、宇宙へとひろがる課題を発見し、研究することになります。

仲間とともに楽しい勉強空間を創り上げましょう。

1	第1回 ガイダンス 本学の地域連携活動とCOO
2	第2回 野火止用水灯明まつりについて(ゲスト講師)
3	第3回 埼玉の川と魚(ゲスト講師)
4	第4回 新座の歴史と平林寺(ゲスト講師)
5	第5回 グループワーク

6	第6回 武州里神楽の魅力（ゲスト講師）
7	第7回 小江戸川越に学ぶまちづくり（ゲスト講師）
8	第8回 新座市の文化財保護と生涯学習（ゲスト講師）
9	第9回 グループワーク
10	第10回 新座市の雑木林（ゲスト講師）
11	第11回 県南西部における産業の実態について（ゲスト講師）
12	第12回 野火止用水とその保全（ゲスト講師）
13	第13回 グループワーク
14	第14回 グループワーク
15	第15回 まとめ

評価

毎回の課題（30%）、地域活動への参加またはレポート（70%）とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】埼玉や新座周辺などの地域に関する歴史、地理、文化に関する文献、資料を読む。

【事後学修】講義中に取り扱った内容に関する文献や資料を探し、課題を深めてみる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用しません。

推薦書は適宜講義中に説明します。

科目名	日本国憲法の内容と精神		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 B		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (家庭) / 中学校教諭一種免許状 (家庭) / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

- この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。
- 講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。
- 学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。また、新座市の人権に関する諸条例を学び、住民自治への理解を深める。

内容

授業計画

- 第 1 回：主権者教育としての憲法学習の意味
- 第 2 回：立憲的意味の憲法 (立憲主義) とは何か
- 第 3 回：日本国憲法の三大原理 - 国民主権
- 第 4 回：日本国憲法の三大原理 - 基本的人権の尊重
- 第 5 回：日本国憲法の三大原理 - 平和主義
- 第 6 回：基本的人権の種類と内容 - 自由権
- 第 7 回：基本的人権の種類と内容 - 平等権
- 第 8 回：基本的人権の種類と内容 - 社会権
- 第 9 回：基本的人権の種類と内容 - 参政権、請求権
- 第 1 0 回：日本国憲法の構成と意味内容 - 前文、象徴天皇制、第 9 条と平和保障
- 第 1 1 回：日本国憲法の構成と意味内容 - 国民の権利・義務、三権分立の仕組み
- 第 1 2 回：日本国憲法の構成と意味内容 - 財政の意味と役割、地方自治
- 第 1 3 回：地域の暮らしと日本国憲法 - 新座市の人権に関する条例を学ぶ
- 第 1 4 回：憲法改正手続、憲法の最高法規性 - 憲法改正問題への視点
- 第 1 5 回：全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。総合評価60点以上を合格とする。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。提出された課題レポートにはコメントを付し、翌週以降授業内で返却する。

授業外学習

- 【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所の通読
- 【事後学修】授業終了時に告げられる今回授業のテキスト箇所の通読・点検・復習

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】片居木・福岡・長野・安達著『改訂 日本国憲法へのとびら～いま、主権者に求められること～』法律情報出版

【参考書】授業時、適宜紹介する。

科目名	日本国憲法の内容と精神		
担当教員名	菅谷 麻衣		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 B		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (家庭) / 中学校教諭一種免許状 (家庭) / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

集団的自衛権や夫婦別姓をめぐる議論など、一般市民の憲法に対する理解力が問われる社会的状況の中で、市民として必要な、日本国憲法に関する知識・思考を深めていく。

科目の概要

まず最初に、憲法というものの自体を理解するために、「そもそも憲法とは何か」について考える。続けて、日本国憲法の個別条文について、いくつかの判例を挙げながら検討し、日本国憲法の基本原理と、その具体化である各規定の意義を理解する。全体を通して、判例や学説による憲法解釈を紹介するだけでなく、法哲学的・法史的・比較法的な視点も重視して、多面的に日本国憲法を捉えていきたい。

学修目標 (= 到達目標)

憲法の内容について本質的に理解する、日本国憲法の基本原理と各条文の関係・内容を理解する、日本国憲法に関する諸問題について、知識を深め自分なりの見解を持てること、を到達目標とする。

内容	
1	そもそも憲法とは何だろうか
2	日本国憲法の基本原理
3	幸福追求権と新しい人権
4	法の下での平等とは何か
5	精神的自由権 (表現の自由とマスメディア)
6	精神的自由権 (思想・良心の自由と君が代起立斉唱問題)
7	精神的自由権 (信教の自由と靖国参拝問題)
8	社会権 (生存権と教育を受ける権利)
9	参政権と選挙制度の諸問題
10	国会
11	内閣
12	裁判所
13	象徴としての天皇
14	平和主義の理想と現実
15	まとめ - 再び、憲法とは何だろうか

評価

定期試験 (70点) と講義内レポート (30点) の合計100点満点で、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】ニュース・新聞に目を通し、憲法問題への関心を高めておく。各回の内容について、必ず予習をして臨むこと

(予習用プリントを、毎回の講義で配布する)。

【事後学修】ノートを整理し、疑問点については、講義内レポートやメールで、積極的に質問すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】駒村圭吾編『プレステップ憲法』(弘文堂)

【推薦書】神野潔編『教養としての憲法入門』(弘文堂)

【参考図書】大沢秀介・大林啓吾『判例アシスト憲法』(成文堂)、大沢秀介・大林啓吾『確認 憲法用語』(成文堂)その他毎回の講義内で紹介します。

科目名	日本国憲法の内容と精神		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 B		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (家庭) / 中学校教諭一種免許状 (家庭) / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

- この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。
- 講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。
- 学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。また、新座市の人権に関する条例を学び、住民自治への理解を深める。

内容

授業計画

- 第 1 回：主権者教育としての憲法学習の意味
- 第 2 回：立憲的意味の憲法（立憲主義）とは何か
- 第 3 回：日本国憲法の三大原理 - 国民主権
- 第 4 回：日本国憲法の三大原理 - 基本的人権の尊重
- 第 5 回：日本国憲法の三大原理 - 平和主義
- 第 6 回：基本的人権の種類と内容 - 自由権
- 第 7 回：基本的人権の種類と内容 - 平等権
- 第 8 回：基本的人権の種類と内容 - 社会権
- 第 9 回：基本的人権の種類と内容 - 参政権、請求権
- 第 1 0 回：日本国憲法の構成と意味内容 - 前文、象徴天皇制、第 9 条と平和保障
- 第 1 1 回：日本国憲法の構成と意味内容 - 国民の権利・義務、三権分立の仕組み
- 第 1 2 回：日本国憲法の構成と意味内容 - 財政の意味と役割、地方自治
- 第 1 3 回：地域の暮らしと日本国憲法 - 新座市の人権に関する条例を学ぶ
- 第 1 4 回：憲法改正手続、憲法の最高法規性 - 憲法改正問題への視点
- 第 1 5 回：全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。総合評価60点以上を合格とする。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。提出された課題レポートにはコメントを付し、翌週以降授業内で返却する。

授業外学習

- 【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所の通読
- 【事後学修】授業終了時に告げられる今回授業のテキスト箇所の通読・点検・復習

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】片居木・福岡・長野・安達著『改訂 日本国憲法へのとびら～いま、主権者に求められること～』法律情報出版

【参考書】授業時、適宜紹介する。

科目名	日本国憲法の内容と精神		
担当教員名	菅谷 麻衣		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 B		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (家庭) / 中学校教諭一種免許状 (家庭) / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

集団的自衛権や夫婦別姓をめぐる議論など、一般市民の憲法に対する理解力が問われる社会的状況の中で、市民として必要な、日本国憲法に関する知識・思考を深めていく。

科目の概要

まず最初に、憲法というものの自体を理解するために、「そもそも憲法とは何か」について考える。続けて、日本国憲法の個別条文について、いくつかの判例を挙げながら検討し、日本国憲法の基本原理と、その具体化である各規定の意義を理解する。全体を通して、判例や学説による憲法解釈を紹介するだけでなく、法哲学的・法史的・比較法的な視点も重視して、多面的に日本国憲法を捉えていきたい。

学修目標 (= 到達目標)

憲法の内容について本質的に理解する、日本国憲法の基本原則と各条文の関係・内容を理解する、日本国憲法に関する諸問題について、知識を深め自分なりの見解を持てること、を到達目標とする。

内容	
1	そもそも憲法とは何だろうか
2	日本国憲法の基本原則
3	幸福追求権と新しい人権
4	法の下での平等とは何か
5	精神的自由権 (表現の自由とマスメディア)
6	精神的自由権 (思想・良心の自由と君が代起立斉唱問題)
7	精神的自由権 (信教の自由と靖国参拝問題)
8	社会権 (生存権と教育を受ける権利)
9	参政権と選挙制度の諸問題
10	国会
11	内閣
12	裁判所
13	象徴としての天皇
14	平和主義の理想と現実
15	まとめ - 再び、憲法とは何だろうか

評価

定期試験 (70点) と講義内レポート (30点) の合計100点満点で、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】ニュース・新聞に目を通し、憲法問題への関心を高めておく。各回の内容について、必ず予習をして臨むこと

(予習用プリントを、毎回の講義で配布する)。

【事後学修】ノートを整理し、疑問点については、講義内レポートやメールで、積極的に質問すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】駒村圭吾編『プレステップ憲法』(弘文堂)

【推薦書】神野潔編『教養としての憲法入門』(弘文堂)

【参考図書】大沢秀介・大林啓吾『判例アシスト憲法』(成文堂)、大沢秀介・大林啓吾『確認 憲法用語』(成文堂)その他毎回の講義内で紹介します。

科目名	日本国憲法の内容と精神		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 B		
学 年	4	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (家庭) / 中学校教諭一種免許状 (家庭) / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

憲法について条文を学ぶのみでなく現実の社会において何が問題となっているか時事問題に目を向けながら憲法について理解していく。

科目の概要

憲法をめぐる動き・論点を踏まえつつ基本的な内容を概観する。憲法の国家観・民主主義観・憲法改正等とともに社会の動きと憲法との関連を学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

憲法の基本的知識の習得、国や社会との関わりの理解、それらについて自分の意見を持つ。

内容

1. オリエンテーション 日本国憲法とは
2. 憲法の歴史 欧米の憲法史、明治憲法、日本国憲法制定史
3. 国民主権-憲法前文、平和主義-憲法9条、安保体制、集団的自衛権
4. 基本的人権 幸福追求権、プライバシー権
5. 基本的人権 法の下での平等
6. 基本的人権 思想・良心の自由、信教の自由、政教分離の原則
7. 基本的人権 表現の自由、報道の自由
8. 憲法改正手続 憲法96条、硬性憲法、自民党改正草案、憲法改正は必要か
9. 基本的人権 国務請求権、社会権
10. 基本的人権 財産権、人身の自由
11. 統治機構 国会、内閣、裁判所、権力分立
12. 統治機構 地方自治 予算、条例
13. 国家・政府と憲法 安全保障と憲法、安全保障関連法、憲法9条改正問題、世界の国家と憲法
14. 民主主義 地方・地域の自治権、参政権、外国人の地方参政権、18歳選挙権
15. まとめ

評価

小試験(70%)、平常点(30%)の総合評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】憲法に関連するニュースをフォローする。次回テーマについて基礎知識を得る。

【事後学修】授業の論点について自分で調べ、自分の考えをまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業でレジュメ・資料などを用意する。

推薦書 芦部信喜「憲法 第六版」岩波書店、2015年

科目名	現代社会を考える		
担当教員名	野島 靖子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 B		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目、十文字学、地域と社会を学ぶに位置づく選択科目。

「地 (知) の拠点整備事業」における「地域志向科目」。

教員によるオムニバス講義。

科目の概要

少子高齢化、雇用、貧困、孤立、医療、介護、子育て等、現代社会が抱える福祉課題は、多様で深刻である。その現状、要因、対策等を学び、解決のための自助・共助・公助の取り組みを理解することによって、一人ひとりの生活者の視点から解決の可能性を検討する。市民・社会人としての生活のリテラシーを高めることによって、現代社会における福祉を創造する力を育むことをめざす。

学修目標 (= 到達目標)

- ・現代社会の福祉課題について、理解する
- ・自助・共助・公助の取り組みを理解する
- ・具体的な地域において、課題を設定し、解決方法を検討する力を得る

内容

第1週 (宮城) オリエンテーション 科目のねらいと学習方法を理解する

第2週 (宮城) 建学理念と現代社会における学び

第3～8週 (宮城) 地域における多様性と持続性

コミュニティの理論と現代社会への応用

コミュニティを構成する諸集団と家族・世帯

地域の福祉課題に取り組む団体

公共セクター・民間セクター・非営利セクターの特性

コミュニティ・ビジネスと女性起業

新座市におけるエコマネーの事例検討

第9～14週 (野島) 高齢者福祉の現状と課題

高齢者とは

少子高齢社会

高齢者を取り巻く課題

高齢者介護の現状と課題

新座市における高齢者福祉 施設で暮らす高齢者

新座市における高齢者福祉 在宅で暮らす高齢者

第15週（野島）まとめと講評

評価

建学理念に関するミニレポート（10点）、教員ごとの課題の評価（40点×2）、最後のとりまとめの評価（10点）とし、その総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】フィードバックシートを活用し、講義内容の理解度を評価しながら、講義をすすめる。

授業外学習

【事前準備】第1週オリエンテーションで、各教員ごとの事前学習課題を示す。

【事後学修】各教員の講義の終わりに発展的学習のための参考文献・資料等を示す。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし

【推薦書】各教員ごとに授業中に示す

科目名	現代社会を考える		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 B		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目、十文字学、地域と社会を学ぶに位置づく選択科目。

「地 (知) の拠点整備事業」における「地域志向科目」。

教員によるオムニバス講義。

科目の概要

少子高齢化、雇用、貧困、孤立、医療、介護、子育て等、現代社会が抱える福祉課題は、多様で深刻である。その現状、要因、対策等を学び、解決のための自助・共助・公助の取り組みを理解することによって、一人ひとりの生活者の視点から解決の可能性を検討する。市民・社会人としての生活のリテラシーを高めることによって、現代社会における福祉を創造する力を育むことをめざす。

学修目標 (= 到達目標)

- ・現代社会の福祉課題について、理解する
- ・自助・共助・公助の取り組みを理解する
- ・具体的な地域において、課題を設定し、解決方法を検討する力を得る

内容

第1週 (角田) オリエンテーション 科目のねらいと学習方法を理解する

第2週 (宮城) 建学理念と現代社会における学び

第3～8週 (角田) 現代社会におけるユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインの概論

高次認知機能からの新座市のユニバーサルデザインの考察

視覚機能からの新座市のユニバーサルデザインの考察

聴覚機能からの新座市のユニバーサルデザインの考察

音声からの新座市のユニバーサルデザインの考察

身体まで含めた認知機能からの新座市のユニバーサルデザインの考察

第9～14週 (宮城) 地域における多様性と持続性

コミュニティの理論と現代社会への応用

コミュニティを構成する諸集団と家族・世帯

地域の福祉課題に取り組む団体

公共セクター・民間セクター・非営利セクターの特性

コミュニティ・ビジネスと女性起業

新座市におけるエコマネーの事例検討

第15週（宮城）まとめと講評

評価

教員ごとの課題の評価（40点×2）、建学理念に関するレポート（10点）、最後のとりまとめの評価（10点）とし、その総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】フィードバックシートを活用し、講義内容の理解度を評価しながら、講義をすすめる。

授業外学習

【事前準備】第1週オリエンテーションで、各教員ごとの事前学習課題を示す。

【事後学修】各教員の講義の終わりに発展的学習のための参考文献・資料等を示す。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし

【推薦書】各教員ごとに授業中に示す

科目名	グローバル化と社会		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 B		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

メディアコミュニケーション学科専門科目 (2 年生以上選択履修可)

科目の概要

「グローバル化」とは最近よく耳にする言葉であるが、それは一体何を意味するのであろうか。我々が普段暮らしている、この「社会」とはどのような関係にあるのだろうか。「グローバル化」は経済分野が先行している現象であるが、この講義では、その「社会」とのかかわりを考える場合に最もわかりやすい指標である、ニュース・ジャーナリズムのグローバル化について考えていく。

学修目標 (= 到達目標)

これからの世界の行方を考える上での最重要キーワードの一つである、「グローバル化」の意味を正しく理解し、来るべき「グローバル社会」の可能性と問題点を各自が考える力を身につける。

内容

1	はじめに グローバルとは 授業に関するアンケート
2	「グローバル・ジャーナリズム」とはなにか
3	グローバルなニュースの収集
4	グローバルなニュースの伝達
5	グローバルなニュースの選択・解釈1
6	グローバルなニュースの選択・解釈2
7	中間まとめ
8	現時点での「グローバル・ジャーナリズム」の実態とは CNN InternationalとBBC World News
9	「アル・ジャジーラ」の果たした役割とは
10	グローバルジャーナリズム3巨頭の比較整理
11	放送のグローバル化がもたらしたものは
12	「グローバル・ジャーナリズム」は、誰のためのものか
13	「グローバル・ジャーナリズム」の進展が示唆するもの EuroNewsの挑戦を手掛かりに
14	アジアにおける「グローバル・ジャーナリズム」の可能性 アジア共同体の一里塚となれるか
15	まとめ

評価

中間テストを41点、最終レポートを59点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】毎日の国際ニュースに関心を持つ

【事後学修】毎日の国際ニュースに関心を持つ

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書 『メディア用語基本事典』（世界思想社）

田中浩編著 『現代思想とはなにか - 近・現代350年を検証する』 龍星出版、1996年）

田村、林、大井編 『現代ジャーナリズムを学ぶ人のために』 .世界思想社、2004年）

田中浩編著 『EUを考える』 未来社、2011年

玄武岩編 『越境するメディアと東アジア リージョナル放送の構築に向けて』 勉誠出版、2015年

科目名	社会の仕組みの理解		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 B		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

ビジネスパーソンにとって必要不可欠な税金の基礎を学修する科目である。

科目の概要：

法人税や所得税にとどまらず、消費税や不動産等に関する税金まで、ビジネスにかかわる税金を幅広く学修する。

学修目標：

本科目では、ビジネス社会における税務実務の基礎知識を身につける。

内容

1	オリエンテーションと税務トピックス
2	暮らしの税金
3	サラリーマンが身につけておきたい税金知識
4	所得税の基礎知識
5	給与所得とは
6	所得税額の計算と確定申告
7	寄付金等の所得控除について
8	自営業者が知っておくべき税金知識
9	自営業者の確定申告
10	会社経営に必須の税金知識
11	会社に関連する税金
12	会社の利益と所得の関係
13	交際費課税等
14	金融資産の運用、保険・年金と税金の関係
15	まとめ

評価

学修目標に関するレポート等 (20点)、学修目標に基づく筆記形式のテスト (60点)、通常の授業態度等 (20点) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】講義で指示された箇所は必ず読んでくること

【事後学修】その日のうちにノートをもう一度読み返すこと

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】財団法人納税協会連合会 『マンガと図解 新くらしの税金百科』清文社

科目名	物質のなりたち		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 C		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

十文字学「人間・環境を学ぶ」の科目のひとつで、宇宙規模で人間と自然の関係を学ぶ。

科目の概要

近隣の惑星の環境を学ぶことにより、改めて生物が存在可能な地球の自然環境を見直す。この地球環境は宇宙の長い歴史のなかで生まれてきたことを理解する。この宇宙全体には「始まり」があり、人間が誕生するまでに長い時間と、多くのできごとがあったことを学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

太陽系の他の天体を知ることにより、地球が生命の存在に適した星であることを理解する。
宇宙誕生から人類が生まれてくるまでの歴史を理解する。

内容	
1	この授業のねらい
2	宇宙に働く力, 銀河系
3	宇宙の膨張
4	もののはじまり
5	近隣の惑星 (火星)
6	近隣の惑星 (金星・水星)
7	太陽
8	月
9	地球, 巨大惑星
10	恒星の一生
11	重い恒星
12	恒星の誕生
13	分子の合成
14	まとめ
15	まとめ

評価

授業への参加度10%、授業中の提出物20%、筆記試験70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を復習しておくとともに、配布されるプリントに事前に目を通しておく。

【事後学修】今回の学習内容について再度見直し、疑問点を解消しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない

【参考図書】教室で紹介する

科目名	物質のなりたち		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 C		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

十文字学「人間・環境を学ぶ」の科目のひとつで、宇宙規模で人間と自然の関係を学ぶ。

科目の概要

近隣の惑星の環境を学ぶことにより、改めて生物が存在可能な地球の自然環境を見直す。この地球環境は宇宙の長い歴史のなかで生まれてきたことを理解する。この宇宙全体には「始まり」があり、人間が誕生するまでに長い時間と、多くのできごとがあったことを学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

太陽系の他の天体を知ることにより、地球が生命の存在に適した星であることを理解する。
宇宙誕生から人類が生まれてくるまでの歴史を理解する。

内容	
1	この授業のねらい
2	宇宙に働く力, 銀河系
3	宇宙の膨張
4	もののはじまり
5	近隣の惑星 (火星)
6	近隣の惑星 (金星・水星)
7	太陽
8	月
9	地球, 巨大惑星
10	恒星の一生
11	重い恒星
12	恒星の誕生
13	分子の合成
14	まとめ
15	まとめ

評価

授業への参加度10%、授業中の提出物20%、筆記試験70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を復習しておくとともに、配布されるプリントに事前に目を通しておく。

【事後学修】今回の学習内容について再度見直し、疑問点を解消しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない

【参考図書】教室で紹介する

科目名	地球と環境		
担当教員名	清水 誠		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 C		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

十文字学の科目のひとつで、地球の仕組みと災害について学ぶことを通して、生き抜くための知恵を学ぶとともに、危機管理能力を身に付ける。

科目の概要

我が国は、災害大国である。講義の前半では、大気の性質や振る舞い、地球の構造、地震や火山噴火の発生メカニズムについて学ぶ。続いて、災害の発生原因を知り、災害を最小限にするための軽減策について考える。

学修目標 (= 到達目標)

- ・地球のつくりとそこでおこる現象について説明できる。
- ・災害が私たちの生活する社会に及ぼす影響について理解する。
- ・災害とどのように向き合い、危機管理を行っていくか、思考し行動できる力を身につける

内容

1	地球と環境の概観
2	天気の変化
3	日本の気象
4	気象と災害
5	気象と災害
6	地球の形と内部構造
7	火山噴火のメカニズム
8	火山噴火と災害
9	火山噴火と災害
10	地震の発生とその仕組み
11	地震と災害
12	地震と災害
13	災害に対する防災・減災 (MD法による発表会)
14	津波と災害
15	まとめ

評価

レポート等の提出物40点、筆記試験60点とし、総合評価60点以上を合格とする。

レポート等の提出物は、コメントを記載し翌週以降の授業内で返却する。

授業外学習

【事前準備】1時間程度、シラバスにある講義内容や指示された課題を書籍等で予習しておく。

【事後学修】1時間程度、講義内容についての復習と不明な点を書籍等で解決する

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリント配布

【推薦書】講義の中で紹介する

【参考図書】講義の中で紹介する

科目名	地球と環境		
担当教員名	清水 誠		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 C		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

十文字学の科目のひとつで、地球の仕組みと災害について学ぶことを通して、生き抜くための知恵を学ぶとともに、危機管理能力を身に付ける。

科目の概要

我が国は、災害大国である。講義の前半では、大気の性質や振る舞い、地球の構造、地震や火山噴火の発生メカニズムについて学ぶ。続いて、災害の発生原因を知り、災害を最小限にするための軽減策について考える。

学修目標 (= 到達目標)

- ・地球のつくりとそこでおこる現象について説明できる。
- ・災害が私たちの生活する社会に及ぼす影響について理解する。
- ・災害とどのように向き合い、危機管理を行っていくか、思考し行動できる力を身につける

内容	
1	地球と環境の概観
2	天気の変化
3	日本の気象
4	気象と災害
5	気象と災害
6	地球の形と内部構造
7	火山噴火のメカニズム
8	火山噴火と災害
9	火山噴火と災害
10	地震の発生とその仕組み
11	地震と災害
12	地震と災害
13	災害に対する防災・減災 (MD法による発表会)
14	津波と災害
15	まとめ

評価

レポート等の提出物40点、筆記試験60点とし、総合評価60点以上を合格とする。

レポート等の提出物は、コメントを記載し翌週以降の授業内で返却する。

授業外学習

【事前準備】1時間程度、シラバスにある講義内容や指示された課題を書籍等で予習しておく。

【事後学修】1時間程度、講義内容についての復習と不明な点を書籍等で解決する

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリント配布

【推薦書】講義の中で紹介する

【参考図書】講義の中で紹介する

科目名	生命と生態系		
担当教員名	安達 宏之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 C		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：「生物多様性と倫理」を通じて生命倫理を考える。「生物多様性の危機」が叫ばれて久しいが、そもそも「生物多様性」とは何か、その保全が人にとって何を意味するのかには大きな議論がある。具体的な事例を取り上げながら、生命倫理を考えていきたい。

科目の概要：前半は、「東京湾三番瀬」という干潟・浅瀬をめぐる動きと、「企業と生物多様性」という2つの事例を通じて「生物多様性と倫理」を考える。後半は、前半から抽出できる倫理を紹介するとともに、生物多様性をめぐる法の動きを取り上げる。

学修目標 (= 到達目標)：「生物多様性」について具体像を描けるきっかけを得るとともに、「生物と人」、「生態系の中の人」の倫理を理解する。

内容	
1	「生物多様性」とは何か? さまざまな事例から考える
2	生物多様性の危機と倫理
3	海の生物多様性と倫理 東京湾三番瀬の生態系
4	海の生物多様性と倫理 東京湾の開発の歴史
5	海の生物多様性と倫理 三番瀬埋立問題
6	海の生物多様性と倫理 自然再生へ
7	企業と環境 各企業の取り組みと課題
8	企業と生物多様性 各企業の取り組みと課題
9	企業と生物多様性 ガイドライン等
10	人と生物多様性 生命倫理、環境倫理を考える
11	人と生物多様性 人にとって保全すべき生物多様性とは
12	法と生物多様性 人権と「自然の権利」
13	法と生物多様性 環境法の進展と課題
14	法と生物多様性 環境権の行方
15	まとめ 生物多様性の保全とは何か

評価

授業の終わりにフィードバックシートに感想を記入し、毎回提出する。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

配布プリント等の復習と、次回授業関連の情報収集。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】なし。

【推薦書】その都度推薦する。

【参考図書】井田徹治「生物多様性とは何か」（岩波新書）

科目名	生命と生態系		
担当教員名	安達 宏之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 十文字学 C		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：「生物多様性と倫理」を通じて生命倫理を考える。「生物多様性の危機」が叫ばれて久しいが、そもそも「生物多様性」とは何か、その保全が人にとって何を意味するのかには大きな議論がある。具体的な事例を取り上げながら、生命倫理を考えていきたい。

科目の概要： 前半は、「東京湾三番瀬」という干潟・浅瀬をめぐる動きと、「企業と生物多様性」という2つの事例を通じて「生物多様性と倫理」を考える。後半は、前半から抽出できる倫理を紹介するとともに、生物多様性をめぐる法の動きを取り上げる。

学修目標 (= 到達目標)： 「生物多様性」について具体像を描けるきっかけを得るとともに、「生物と人」、「生態系の中の人」の倫理を理解する。

内容		
1	「生物多様性」とは何か？	さまざまな事例から考える
2	生物多様性の危機と倫理	
3	海の生物多様性と倫理	東京湾三番瀬の生態系
4	海の生物多様性と倫理	東京湾の開発の歴史
5	海の生物多様性と倫理	三番瀬埋立問題
6	海の生物多様性と倫理	自然再生へ
7	企業と環境	各企業の取り組みと課題
8	企業と生物多様性	各企業の取り組みと課題
9	企業と生物多様性	ガイドライン等
10	人と生物多様性	生命倫理、環境倫理を考える
11	人と生物多様性	人にとって保全すべき生物多様性とは
12	法と生物多様性	人権と「自然の権利」
13	法と生物多様性	環境法の進展と課題
14	法と生物多様性	環境権の行方
15	まとめ	生物多様性の保全とは何か

評価

授業の終わりにフィードバックシートに感想を記入し、毎回提出する。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

配布プリント等の復習と、次回授業関連の情報収集。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】なし。

【推薦書】その都度推薦する。

【参考図書】井田徹治「生物多様性とは何か」（岩波新書）

科目名	総合科目（野村証券）		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-十文字学D		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

この科目は野村証券の冠講座であり、共通科目の総合科目として解説されるものである。

科目の概要

「資本市場と証券投資の基礎」として経済学の基礎から資本市場の全容、そして株式投資・債券投資、グローバル証券投資・分散投資の方法やリスクとリターンの考え方などを実務の観点から解説します。

学修目標

経済の基本からスタートして、投資についての基本的な考え方を理解する。

野村証券より講師をお招きし授業を実施する

内容	
1	ガイダンス
2	経済事情事始め
3	金融の仕組み
4	リスク&リターン
5	ポートフォリオの考え方
6	債券市場の役割と投資の考え方
7	株式入門の役割と考え方
8	投資信託入門
9	外国為替のいろは
10	日本株の歴史
11	これからの成長産業
12	投資家心理学を学ぶ
13	ライフプランニングとNISA
14	まとめ1
15	まとめ2

評価

中間試験（30%）、最終試験（70%）とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】経済ニュースを読む。

【事後学修】授業で扱うプリントを用いて、自分で調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。

科目名	総合科目（毎日新聞女性記者）		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-十文字学D		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格: 共通科目・十文字学D領域の総合科目（選択科目）・毎日新聞社提携講座

毎日新聞社のさまざまな分野で働く中堅の女性記者・女性社員から直接学ぶことで、本学の教育目標である「幅広い職業人」の育成をめざす。

科目の概要: 毎日新聞社の社会部、政治部、医療福祉部、学芸部、生活報道部、科学環境部、校閲G、事業本部、広告局などさまざまな部署で活躍している女性記者・社員によるオムニバス講義。異動・突発事項等により一部変更する場合があります。

学修目標（=到達目標）: 毎日新聞社の様々な分野、領域で活躍する女性記者・社員の日々の体験に基づいた講義を聴いて、新聞社の社会的使命を認識し、学生自身が自分の将来について考え、社会人になるための心構えなどを学ぶ。

内容

全体のテーマ: 「現代社会事情概説～毎日新聞社で働く女性記者の視点から」以下は、異動・突発事項などで変更の場合もあります。

1	新聞記者の仕事 - ガイダンス（編集委員）
2	新聞ができるまで（「教育と新聞」推進本部）
3	戦争を知らない世代の平和取材（社会部）
4	税と政治（政治部）
5	落語の世界をのぞいてみれば（学芸部）
6	新聞と週刊誌と男と女（紙面審査委員）
7	自然災害にどう備えるか（科学環境部）
8	医療報道とは（医療福祉部）
9	新聞社からみた女性労働この30年（「教育と新聞」推進センター）
10	暮らしと新聞（生活報道部）
11	テレビの現在・過去・未来（学芸部）
12	言葉の間違いを探す（校閲グループ）
13	新聞の広告とは（広告局）
14	「イベント」という側面からみた新聞社（事業本部）
15	現代社会における新聞と読者 - まとめ（編集委員）

評価

各回のリアクションペーパーの内容（80点）、最終レポート（20点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】初回ガイダンスで配布する資料を熟読すること

【事後学修】毎回配布される毎日新聞を、各回の講義によって得られた視点で読むこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし

【推薦書】適宜紹介する

【参考図書】適宜紹介する。その他に、毎回講義日当日の毎日新聞を配布する。

科目名	総合科目（伝統文化の精神と理解）		
担当教員名	金勝 裕子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-十文字学D		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

地域志向科目であり「伝統文化の理解と礼法・儀礼」の関連を体系的に習得する。

科目の概要

日本の伝統文化・年中行事と礼法・儀礼とのかかわりを理解し「礼法の基礎」「自己表現と実技」「就職に向けた具体的な作法」などの講義と演習を習得する。

学修目標（＝到達目標）

社会に対応できる礼法（マナー）、教養を身につけた「大人の女性」、本学の教育目標である「幅広い職業人」の出発点になることを目標とする。

内容

この大学は女子大学である。女子大学としてのイメージとして一般的に考える「女子のたしなみ」ということが一つの大切な要素と考える。立ち居振る舞いの印象は人の印象を左右するものである。

この時間は日本における儀礼・文化の第一人者である『インターナショナル儀礼文化教育研究所』所長である永井とも子先生に15回の講義演習をお願いする貴重な講座と考えている。

日本文化から生まれた『礼法』をぜひ身につけてもらいたい。

1	伝統文化・儀礼・礼法（マナー）とは
2	伝統文化・儀礼・礼法（マナー）の必要性
3	礼法の移り変わり
4	パフォーマンス学とは（自己表現を学ぶ）
5	礼法とパフォーマンス学
6	就職とパフォーマンス学
7	就職と礼法
8	人生の通過儀礼
9	年中行事（1）
10	年中行事（2）
11	五節供（五節句）のかざり
12	遊戯文化・百人一首、投扇興であそぶ
13	慶弔の決まり事
14	和室での決まり
15	まとめ

評価

授業への取り組み50%、考察課題50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】テキストで該当箇所を予習する

【事後学修】講義後に関連の伝統文化・礼法について深く思考すること

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 永井とも子著 「儀礼（マナー）は人生を拓く」 ヒーロー出版社 ￥1,800（税別）

【推薦書】 適宜紹介

【参考図書】 ”

科目名	総合科目（にいざ十文字発世界へ）		
担当教員名	池間 里代子、角田 真二		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-十文字学D		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

「にいざ十文字発世界へ - 国際目線でWEB制作 - 」

共通科目十文字学「学びの基盤をつくる」科目群の総合科目のひとつである。

科目の概要

グローバル（新座＝ローカル、で生活する外国の方＝グローバル）取材を通じ、異文化理解を促す。特に成果物の作成をめざす中で、地域の人々との触れ合いを通し、真の国際交流が何であるかを日本人学生・留学生双方に肌で感じてもらう。

学修目標（＝到達目標）

留学生を交え学生グループによる取材活動を通じ、事前学習による写真の撮り方・文字起こし・メモ作り・記事化・キャプション付け・リード文書きなどを学び、WEBアップまで一貫して学ぶ。日本人と留学生とのグループ活動を行うことで協調性を養い、学生の知的好奇心を刺激し、ユニークなWEB成果物を作成し、学内外へ広く情報を発信していく。

内容

1	ガイダンス・グループ分け
2	事前指導（メディアリテラシー・取材の方法）
3	取材1
4	取材2
5	ディスカッション・記事作成
6	取材3
7	取材4
8	ディスカッション・記事作成
9	取材5
10	取材6
11	ディスカッション・記事作成
12	WEB指導
13	WEB指導
14	報告会
15	まとめ

評価

授業への参加(50%)や課題の取り組み(50%)を重視し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】グループでの役割分担の明確化

【事後学修】記事化における役割分担の明確化

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】事前指導の際、プリントを配布する

科目名	総合科目（就活対策としての金融ビジネス）		
担当教員名	込江 雅彦、加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-十文字学D		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

この科目は、銀行、税務、生命保険、損害保険などの金融系ビジネスを学習し、就職活動に備えることを目的とする。

科目の概要

金融機関を中心にビジネスの基礎を様々な分野の専門家から実務内容の紹介を受け学習する。具体的には銀行、生命保険、損害保険と一般中小企業に専門性を発揮する税理士会からそれぞれ専門家を招きその指導を受ける。

学修目標（=到達目標）

銀行、税務、生命保険、損害保険の仕事の中身を知り、また広くビジネスの基礎を学習する。

内容	
1	はじめに
2	三井住友銀行
3	三井住友銀行
4	税理士
5	税理士
6	税理士
7	税理士
8	生命保険
9	生命保険
10	生命保険
11	生命保険
12	損害保険
13	損害保険
14	損害保険
15	まとめ

評価

平常点30%と最終レポート70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】金融についてのニュースを読む。

【事後学修】配布されたプリントやノートを見ながら、不明なところを調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。

【推薦書】特に指定しない。

【参考図書】特に指定しない。

科目名	総合科目（オリンピックムーブメント2）		
担当教員名	石山 隆之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-十文字学D		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

公益財団法人 東京オリンピックパラリンピック競技大会組織委員会との大学連携協定締結に基づき行われる。カレッジスポーツセンター共催として学生や市民のために授業を公開していくことになった。27年度は「地域発オリンピックパラリンピック レガシーづくり」というテーマで15週を構成した授業の継続版である。

科目の概要

2020オリンピックを、支える・観る・するの3つの観点から組み立てた、オリンピックなどの招聘講師の授業を計画的に配置する。招聘講師ならではのエピソードも授業では積極的に述べて頂きながら、授業を展開し学生の理解を深めさせる。本年度は、オリンピック・パラリンピック組織委員会からの講師も招聘し、女性スポーツとカレッジスポーツをテーマに授業を展開する。

学修目標（=到達目標）

学生には、将来特に「スポーツを支える」の内容での関わりに期待する。本講義を通してのオリンピズム啓蒙が、十文字学園女子大学卒業後に教員や栄養士、幼稚園教諭などとなる将来の先生の卵たちを通して、次世代の子供たちに受け伝えていくことを目指していく。

内容

- 1 石山隆之 ガイダンス・イントロダクション
- 2 松森亮 FC十文字VENTUS GM/元ジュピロ磐田
・「FC十文字VENTUS」サッカークラブの作り方
- 3 サイド横田仁奈 元新体操フィアリージャパン
- 4 栗原 裕二 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 広報局事業部事業連携課長
・東京2020大会とエンゲージメントイベント
- 5 ・東京2020大会とエンゲージメントイベント
- 6 マンスリー 組織委員会特別授業 詳細調整中
- 7 マンスリー 組織委員会特別授業 詳細調整中
- 8 野口亜弥 スポーツ庁・元女子アメリカサッカープロ、MBA、十文字サッカー部元主将
・地域から考えるスポーツ国際開発。世界の女性が輝くために一人ひとりができること
- 9 佐々木則夫副学長 前女子サッカー日本代表監督 ・テーマ調整中
- 10 石山隆之・染谷栄一
- 11 加藤道夫氏 株式会社サーフレジェンド代表取締役（波伝説、海快晴の運営会社）
・東京五輪後のマリンスポーツによる日本(地方)活性化について
- 12 調整中
- 13 調整中

14 調整中

15 授業の総まとめ

評価

出席などの平常点を50点。課題提出や授業への取り組みを50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】2020東京オリパラに関する事柄に、平素より興味関心を持つ

【事後学修】教室からフィールドへ。学生から学生へのリレーへと地域発のムーブメントを広げていく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特になし

【推薦書】授業時間内で紹介

【参考図書】授業時間内で紹介

科目名	総合科目（危機を乗り越えて生き抜く力）		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-十文字学D		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

「十文字学」の中の「学びの基礎をつくる」の枠組みに属する選択科目である

科目の概要

我が国において、国民の安心・安全がどのようにして守られているかを理解し、危機を乗り越えるために、自分にできることは何かを考える。自然災害、火災、事故、犯罪などの偶発的危機への対処のほか、食品、被服、電化製品など、身近な生活における安全確保、世界のテロや紛争などグローバルな危機についても学ぶ。

学修目標（＝到達目標）

授業を通して、危機を乗り越え安全を確保するには、制度や法律、政策だけでは不十分であり、自助、共助の必要性を理解するとともに、暮らしの安全・安心について関心を持ち、消費者としての自立を促し、自身の安全確保についての認識を明確にすることを目的としている。

内容	
1	私たちの「安全」とは（オリエンテーション）
2	海外旅行における「安全」～世界各国の現状
3	「何から何を守るのか」を考える
4	首都圏直下型大地震や近隣国の混乱に備える
5	食の安全・安心について
6	悪質商法・製品事故から身を守るために
7	シックハウスから身を守る「住まいづくり」
8	子供服の安全について
9	自衛隊って何、自衛官ってどんな人【朝霞駐屯地、りっくんらんどについて】
10	専守防衛の自衛隊の実力と実像
11	自衛隊の活躍 ～ 防衛省の現役職員を迎えて
12	日米安保って何？
13	地域の安全を守る（新座警察から警察官を迎えて）
14	安全保障の現場を女性が支える【地域で活躍する女性】
15	自分自身で考えよう！「安全」と「安心」（まとめ）

評価

毎回課題プリントを提出（通常点 30%）、最後に課題レポート（70%）を提出、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】

授業外学習

【事前準備】特にありません

【事後学修】特にありません

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特にありません

【推薦書】特にありません

【参考図書】『幸せを呼ぶ「住まい」づくり』（アートデイズ）窪寺伸浩

科目名	総合科目（いもプロ）		
担当教員名	高橋 京子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-十文字学D		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

7年目となる「いもプロ」の継承・発展に主体的にかかわることを通し、社会への理解、自己への理解を深め、学びの基礎を形成する。

科目の概要

新座市「新友会」のサツマイモの栽培・収穫に協力する。収穫の一部をいただき、調理をし、新座市内のイベントで販売する。その収益を福島県双葉町の支援につなげる。新座市で大量に廃棄されている里芋の親芋の有効活用を提案する。

学修目標（＝到達目標）

地域貢献活動・社会貢献活動を通して、自分自身の特性を再確認し、その特性を社会に生かそうとする意欲を形成する。

内容

活動の概要確認

昨年度の「いもプロ」の活動報告を受け、活動の概要を理解する。

「指月喝」に託した思い

新座市「新友会」荻原さんにお話を伺い、地域貢献活動としての意味を理解する。

活動の組織化

今年度の活動の進め方を話し合い、活動の計画を立てる。レシピを確認し、試作の計画を立てる。

商品の試作

レシピをもとにさつまいもを使ったお菓子を試作する。

さつまいも収穫

「指月喝」の材料となるさつまいもの収穫に協力する。さつまいもの一部をいただき、保存する。

～

収穫祭、オープンカフェ、ゆるキャラフェスティバルなどの新座市のイベント、学内販売においてさつまいものお菓子を調理・販売する。

里芋の親芋の調理にレシピ集をまとめる。里芋の親芋を活用したお菓子を調理・販売する。

新たな方向性の模索

自分自身の特性を生かし、商品開発・販売戦略等の分野でプロジェクトを発展させる方策を検討する。

プレゼン発表

これまでの「いもプロ」のリーダーを招き、今後の活動についてのプレゼンを行い、活動についてアドバイスを受ける。

評価

活動への取り組み30点、最終プレゼン30点、レポートを40点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の活動に向けた資料の確認、物品の準備を行う。

【事後学修】活動の記録としてレポートを作成する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。

【推薦書】【参考図書】授業において紹介する。

科目名	総合科目（日中異文化理解）		
担当教員名	仇 暁芸		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-十文字学D		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は日本人学生および留学生両方を対象とし、「初めての中国」と「さらに知りたい日本」をテーマに言語と文化の両視点から展開する授業である。

科目の概要

担当教員その他、外部の専門家も招き授業を進行する。例えば、生で「京劇」を聞く体験学習を実施するなど、隣国である中国の文化や言語に触れ、中国に関する基礎知識を紹介する。また日本の食、観光、スポーツなど更に一步進んだ日本文化への理解を目指す。地域との連携・学外への活動も取り組む予定である。

学修目標（＝到達目標）

自分の母国語と自分の文化を相手に紹介できるようにし、異文化・異国の言語の基礎を理解する。日本人学生は自分の名前を中国語で言えるようにする。留学生は自分の留学感想などを日本語で表現できるようにする。また、地域との連携・学外で活動する体験から各々学びを得る。

内容	
1	ガイダンス
2	日中の基礎知識（人口、民族、習慣など）
3	食文化：中華料理と和食
4	中国語の基礎、日本語の特徴
5	「生で京劇を見よう」
6	日中の有名観光地
7	スポーツ（東京五輪に向けて、中国の人気スポーツ）
8	中国語の発音基礎、日本語の発音コツなど
9	日中の主な祝日
10	言葉の練習（日本人学生：名前、日常単語、留学生：日本語の短文）
11	民間芸術（中国の切り絵、日本の和紙など）
12	単語のクリック・レスポンス（日本語と中国語）
13	発表練習：私から見た中国語（日本語）と中国（日本）文化
14	日中の服装について
15	まとめ

評価

授業への参加態度と取り組み度（60%）、授業中のパフォーマンスと課題（40%）などとし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】新出単語、関係内容を予習する。

【事後学修】習った単語を復習し、気になる内容を自分で調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【参考図書】『日本のタテヨコ』（学習研究社 2001 改定第4版）

《中国文化欣??本》（北京?言大学 2004）

科目名	総合科目（昔話や童話を読み解く）		
担当教員名	関根 郁夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-十文字学D		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

共通科目・十文字学の「学びの基礎をつくる」領域にある総合科目（選択科目）の中の1科目である。

科目の概要

現代人の視点から昔話や童話への問いを洗い出し、昔話や童話に込められた思いや知恵を読み解く。その際、昔話や童話が語り継がれてきた地域や時代について考察し、読み解きを深める。各自が読み解いた思いや知恵を中高生たちに伝える講話を作成し、発表する。

学修目標（=到達目標）

先人たちが語り継いできた昔話や童話を読み解き、それを伝えることで、先人と後人をつなぐ立ち位置を得、つながりの中で課題を解決しようとする姿勢を身につける。

内容

個人・ペア・グループで考え、意見交換しながら、昔話や童話を読み解き、中高生向け講話をつくり上げていく。クラス全員とペアやグループを組むようにする。

1	ガイダンス、昔話の疑問とその答えから、昔話を読み解く
2	登場人物が象徴するものを考え、昔話を読み解く
3	時代や作者によって読み解き方が異なることを学ぶ
4	登場人物の行為から学ぶ点を考え、昔話を読み解く
5	伝えたい内容を決めるステップ・チャートと講座づくりのステップ・チャート
6	昔話の主人公を裁判する（1）
7	昔話の続きを作る
8	昔話の主人公を裁判する（2）
9	中高生の発達段階を学び、講話の主題を考える
10	シンデレラ症候群とピーターパン症候群
11	昔話の多読、講話づくり
12	講話から学ぶ（1）
13	講話から学ぶ（2）
14	講話レポート発表会・評価会
15	代表レポート発表会、まとめ

評価

毎回の授業の取組状況（40点）、毎回の振り返りシート（30点）、講話レポート（30点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】授業で用いる昔話や童話を事前に読んでおくこと。講話レポートはクラス全員で評価する。

授業外学習

【事前準備】授業で用いる昔話や童話を事前に読み、講話の構想を練っておくこと。

【事後学修】自分が気づかなかった他者の意見を整理し、振り返りシートに記入すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし。授業ごとにプリントを配布する。

【推薦書】授業時に随時提示する。

科目名	外国語（スペイン語）		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （スペイン語）		
学 年		ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

このコースの目的は学生にスペイン語での会話能力を身につけさせることにある。読み書きも授業内容に含まれているが主に重点を置いているのはスピーキングとヒアリングである。

授業はそれらを中心に行う。クラスは会話能力を付けさせることが主目的であるため、出席と授業中クラスへの積極的な態度が重要なポイントとなる。

科目の概要

授業内容において70%を会話の練習に使う。2人で組んだりグループで話したりと形をかえて行う。

それによって、現実に使える会話能力を身につけさせる。残り30%は書き取りの学習をする。

資料やその他のゲームを使い、活動的に学んでいく。会話中心のクラスの為、文法・読み書きには重きをあまりおかない。

学修目標

スペイン語会話において何の知識もない人達をスキルアップすることを目標としてゼロからスタートし学んでいく。コースが終わった時の最終目標として、スペイン語での日常会話を現在形・過去形・未来形を使って会話できるようにすることにある。

内容

下記内容を用いて 会話とヒアリングを学習する。授業には必ず出席のこと。

1	コースの紹介と基本的な挨拶
2	人物紹介とさらなる基本的挨拶
3	出身地について
4	物についての質問とその特徴
5	個人に関する数字について（電話番号など）
6	一般的な事柄に関する数字を会話する（1）
7	一般的な事柄に関する数字を会話する（2）
8	自分のまわりの人々と事柄について（1）
9	自分のまわりの人々と事柄について（2）
10	現在形を使って動作について話す（1）
11	現在形を使って動作について話す（2）
12	現在形を使って動作について話す（3）
13	スペインの文化について（1）
14	スペインの文化について（2）
15	授業の復習

評価

クラスは会話能力をつけるのが主目的であるため、評価内容は平常点30%、クラスでの学習態度が30%、テストとレポートが40%を基準とする。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】履修生の上達状況に合わせて講師により課題を出す等の判断をします。授業内の指示をよく聞いてください。

【事後学修】履修生の上達状況に合わせて講師により課題を出す等の判断をします。授業内の指示をよく聞いてください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】著者名：Equipo para la elaboracion de manuales de espa

noI 書籍名：Entre amigos 出版社：Editorial Asahi この教科書は外国語（スペイン語）でも使用しますので、同講師で外国語を履修する場合は同じテキストを再び購入する必要はありません。

他講師のテキストを既に所持している場合、そちらの教科書を使用しますので、持参してください。

【推薦書】

【参考図書】

科目名	外国語（スペイン語）		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （スペイン語）		
学 年		ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

このコースの目的は学生にスペイン語での会話能力を身につけさせることにある。読み書きも授業内容に含まれているが主に重点を置いているのはスピーキングとヒアリングである。

授業はそれらを中心に行う。クラスは会話能力を付けさせることが主目的であるため、出席と授業中クラスへの積極的な態度が重要なポイントとなる。

科目の概要

授業内容において70%を会話の練習に使う。2人で組んだりグループで話したりと形をかえて行う。

それによって、現実に使える会話能力を身につけさせる。残り30%は書き取りの学習をする。

資料やその他のゲームを使い、活動的に学んでいく。会話中心のクラスの為、文法・読み書きには重きをあまりおかない。

学修目標

スペイン語会話において何の知識もない人達をスキルアップすることを目標としてゼロからスタートし学んでいく。コースが終わった時の最終目標として、スペイン語での日常会話を現在形・過去形・未来形を使って会話できるようにすることにある。

内容

下記内容を用いて 会話とヒアリングを学習する。授業には必ず出席のこと。

1	コースの紹介と基本的な挨拶
2	人物紹介とさらなる基本的挨拶
3	出身地について
4	物についての質問とその特徴
5	個人に関する数字について（電話番号など）
6	一般的な事柄に関する数字を会話する（1）
7	一般的な事柄に関する数字を会話する（2）
8	自分のまわりの人々と事柄について（1）
9	自分のまわりの人々と事柄について（2）
10	現在形を使って動作について話す（1）
11	現在形を使って動作について話す（2）
12	現在形を使って動作について話す（3）
13	スペインの文化について（1）
14	スペインの文化について（2）
15	授業の復習

評価

クラスは会話能力をつけるのが主目的であるため、評価内容は平常点30%、クラスでの学習態度が30%、テストとレポートが40%を基準とする。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】履修生の上達状況に合わせて講師により課題を出す等の判断をします。授業内の指示をよく聞いてください。

【事後学修】履修生の上達状況に合わせて講師により課題を出す等の判断をします。授業内の指示をよく聞いてください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】著者名：Equipo para la elaboracion de manuales de espa

noI 書籍名：Entre amigos 出版社：Editorial Asahi この教科書は外国語（スペイン語）でも使用しますので、同講師で外国語を履修する場合は同じテキストを再び購入する必要はありません。

他講師のテキストを既に所持している場合、そちらの教科書を使用しますので、持参してください。

【推薦書】

【参考図書】

科目名	外国語（スペイン語）		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （スペイン語）		
学 年		ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

基礎から始めるスペイン語の科目。スペインの文化に興味がある生徒のための科目。

科目の概要

最初の30分はスペインのトピックスについて。文学、歴史、ニュースなど。ときには、ゲームやクイズ。次の60分は文法と単語の学習。Q&A。

学修目標

この授業の目的は基本的な文法と単語を学習し、書き言葉・話し言葉でシンプルなスペイン語のコミュニケーションができるようになる事。スペイン文化についての知識を得る事。

内容

- 【Week 01】スペイン語のABC
- 【Week 02】SER 動詞と自己紹介の仕方
- 【Week 03】形容詞と数字
- 【Week 04】定冠詞と不定冠詞
- 【Week 05】単数と複数
- 【Week 06】指示形容詞
- 【Week 07】指示代名詞
- 【Week 08】疑問詞
- 【Week 09】ESTAR / SER 動詞
- 【Week 10】所有格、家族の用語
- 【Week 11】TENER 動詞と数字
- 【Week 12】Muchoとmuyの使い方、天気用語
- 【Week 13】いくらですか？ 何時ですか？
- 【Week 14-15】まとめ

- 【Week 16】Week1-15の振り返り
- 【Week 17】-AR動詞の現在形
- 【Week 18-20】直接目的語
- 【Week 21】-ER動詞の現在形
- 【Week 22-24】人称代名詞
- 【Week 25】-IR動詞の現在形
- 【Week 26-28】再帰代名詞

【Week 29】まとめ前の振り返り

【Week 30】まとめ

*生徒の理解度によってレッスンのスケジュールは変わる可能性があります。

評価

評価はクラスでの発言40%、試験40%、宿題20%とし、総合評価60%以上で合格とする。

合格に満たなかった場合は、再試験を行います。

授業外学習

【事前予習】前回の授業の内容を復習して次回の授業に臨む。

【事後学修】宿題に取り組む(30 - 60分程度)。前回授業での疑問点などをまとめておくこと。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

Nuevo ESPA?OL 2000 ELEMENTAL. Libro del alumno (CD付き生徒用教科書)

著者: Jes?s S?nchez Lobato / Nieves Garc?a Fern?ndez

出版社: S.G.E.L.

【推薦図書】

【参考図書】

科目名	外国語（フランス語）		
担当教員名	マブソン ローラン		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （フランス語）		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

ネイティブ・スピーカー（フランス人講師）と共に、EUや世界の様々な国の公用語であるフランス語を基礎から学びます。同時にフランス語を通してフランス現代文化やヨーロッパ文化の歴史などに触れます。またインターネットで現代のフランス社会にも目を向け、語学と文化の両面から日本とヨーロッパの相互理解を深めることができるようになることが期待できます。

科目の概要

フランス語1の続きとして、ビデオ教材を通して、日常更に豊かな表現ができるようにします。文法の復習や補足としては、仏検4級レベルの問題を扱います。また、フランスやヨーロッパ文化を背景とした教養ビデオ（バレエ、オペラ、歌曲など）を鑑賞し、文化にも触れると同時に、こちらからの意志表示の表現も学びます。

学修目標（＝到達目標）

前期は現在形から近接過去・近接未来、後期は過去分詞から入り、会話を主体として、実際に使える（話せる）フランス語コミュニケーション能力を上げます。すべての授業において丁寧な発音練習を行います。

内容

- 【第1回】教科書第1課～第8課の復習・まとめ
- 【第2回】第9課 DVDスキット+文法：動詞prendre、間接目的語代名詞、題名動詞など【第3-5回】第9課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：フランス派バレエについて【第6回】第10課 DVDスキット+文法：近接未来、近接過去、中性代名詞など【第7-9回】第10課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：オペラ、白鳥伝説などについて【第10回】第11課 DVDスキット+文法：比較級、最上級など【第11-13回】第11課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：フランスの家族構造について【第14回】まとめ1【第15回】まとめ2
- 【第16回】前期の復習
- 【第17回】第12課 DVDスキット+文法：過去分詞、複合過去（1）など【第18-20回】第12課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：フランス絵画について（マチス、ピカソなど）【第21回】第13課 DVDスキット+文法：複合過去（2）など【第22-24回】第13課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：フランスの詩について（ヴェルレーヌ、ランボーなど）【第25回】第14課 DVDスキット+文法：半過去、大過去など【第26-28回】第14課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） フランスのフェミニズムについて（サンドとショパンなど）
- 【第29回】まとめ1【第30回】まとめ2

評価

授業の取り組みへの姿勢 20点+期末テスト 80点（合計100点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】この科目では60時間以上の授業外学習を行うこと。各回の授業で扱う項目について、テキストの該当箇所を読み、理解できた点とできなかった点を明らかにして授業を受けること。

【事後学修】授業中に指示した次回の練習問題（スキット学習あるいは文化講座の週以外）、つまり教科書の練習問題もしくはプリントで配布した2010年版教科書の練習問題の準備が必要。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『ピエールとユゴー』"Pierre et Hugo" 小笠原洋子 白水社 2014

科目名	外国語（フランス語）		
担当教員名	マブソン ローラン		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （フランス語）		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

ネイティブ・スピーカー（フランス人講師）と共に、EUや世界の様々な国の公用語であるフランス語を基礎から学びます。同時にフランス語を通してフランス現代文化やヨーロッパ文化の歴史などに触れます。またインターネットで現代のフランス社会にも目を向け、語学と文化の両面から日本とヨーロッパの相互理解を深めることができるようになることが期待できます。

科目の概要

フランス語1の続きとして、ビデオ教材を通して、日常更に豊かな表現ができるようにします。文法の復習や補足としては、仏検4級レベルの問題を扱います。また、フランスやヨーロッパ文化を背景とした教養ビデオ（バレエ、オペラ、歌曲など）を鑑賞し、文化にも触れると同時に、こちらからの意志表示の表現も学びます。

学修目標（＝到達目標）

前期は現在形から近接過去・近接未来、後期は過去分詞から入り、会話を主体として、実際に使える（話せる）フランス語コミュニケーション能力を上げます。すべての授業において丁寧な発音練習を行います。

内容

- 【第1回】教科書第1課～第8課の復習・まとめ
- 【第2回】第9課 DVDスキット+文法：動詞prendre、間接目的語代名詞、題名動詞など【第3-5回】第9課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：フランス派バレエについて【第6回】第10課 DVDスキット+文法：近接未来、近接過去、中性代名詞など【第7-9回】第10課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：オペラ、白鳥伝説などについて【第10回】第11課 DVDスキット+文法：比較級、最上級など【第11-13回】第11課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：フランスの家族構造について【第14回】まとめ1【第15回】まとめ2
- 【第16回】前期の復習
- 【第17回】第12課 DVDスキット+文法：過去分詞、複合過去（1）など【第18-20回】第12課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：フランス絵画について（マチス、ピカソなど）【第21回】第13課 DVDスキット+文法：複合過去（2）など【第22-24回】第13課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：フランスの詩について（ヴェルレーヌ、ランボーなど）【第25回】第14課 DVDスキット+文法：半過去、大過去など【第26-28回】第14課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） フランスのフェミニズムについて（サンドとショパンなど）
- 【第29回】まとめ1【第30回】まとめ2

評価

授業の取り組みへの姿勢 20点+期末テスト 80点（合計100点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】この科目では60時間以上の授業外学習を行うこと。各回の授業で扱う項目について、テキストの該当箇所を読み、理解できた点とできなかった点を明らかにして授業を受けること。

【事後学修】授業中に指示した次回の練習問題（スキット学習あるいは文化講座の週以外）、つまり教科書の練習問題もしくはプリントで配布した2010年版教科書の練習問題の準備が必要。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『ピエールとユゴー』"Pierre et Hugo" 小笠原洋子 白水社 2014

科目名	外国語（フランス語）		
担当教員名	マブソン ローラン		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～（フランス語）		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

ネイティブ・スピーカー（フランス人講師）と共に、EUや世界の様々な国の公用語であるフランス語を基礎から学びます。同時にフランス語を通してフランス現代文化やヨーロッパ文化の歴史などに触れます。またインターネットで現代のフランス社会にも目を向け、語学と文化の両面から日本とヨーロッパの相互理解を深めることができるようになることが期待できます。

科目の概要

フランス語1の続きとして、ビデオ教材を通して、日常更に豊かな表現ができるようにします。文法の復習や補足としては、仏検4級レベルの問題を扱います。また、フランスやヨーロッパ文化を背景とした教養ビデオ（バレエ、オペラ、歌曲など）を鑑賞し、文化にも触れると同時に、こちらからの意志表示の表現も学びます。

学修目標（＝到達目標）

前期は現在形から近接過去・近接未来、後期は過去分詞から入り、会話を主体として、実際に使える（話せる）フランス語コミュニケーション能力を上げます。すべての授業において丁寧な発音練習を行います。

内容

- 【第1回】教科書第1課～第8課の復習・まとめ
- 【第2回】第9課 DVDスキット+文法：動詞prendre、間接目的語代名詞、題名動詞など【第3-5回】第9課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：フランス派バレエについて【第6回】第10課 DVDスキット+文法：近接未来、近接過去、中性代名詞など【第7-9回】第10課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：オペラ、白鳥伝説などについて【第10回】第11課 DVDスキット+文法：比較級、最上級など【第11-13回】第11課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：フランスの家族構造について【第14回】まとめ1【第15回】まとめ2
- 【第16回】前期の復習
- 【第17回】第12課 DVDスキット+文法：過去分詞、複合過去（1）など【第18-20回】第12課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：フランス絵画について（マチス、ピカソなど）【第21回】第13課 DVDスキット+文法：複合過去（2）など【第22-24回】第13課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） 文化講座：フランスの詩について（ヴェルレーヌ、ランボーなど）【第25回】第14課 DVDスキット+文法：半過去、大過去など【第26-28回】第14課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って（コピー配布） フランスのフェミニズムについて（サンドとショパンなど）
- 【第29回】まとめ1【第30回】まとめ2

評価

授業の取り組みへの姿勢 20点+期末テスト 80点（合計100点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】この科目では60時間以上の授業外学習を行うこと。各回の授業で扱う項目について、テキストの該当箇所を読み、理解できた点とできなかった点を明らかにして授業を受けること。

【事後学修】授業中に指示した次回の練習問題（スキット学習あるいは文化講座の週以外）、つまり教科書の練習問題もしくはプリントで配布した2010年版教科書の練習問題の準備が必要。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『ピエールとユゴー』"Pierre et Hugo" 小笠原洋子 白水社 2014

科目名	外国語（中国語）		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （中国語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉。中国語のステップアップを目指します。

科目の概要

中国語検定試験4級（初級終了レベル）合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

- 1．正しい発音でピンインが読める
- 2．テキストの例文がきちんと理解できる
- 3．簡体字に習熟する
- 4．長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。

内容

第1回 ガイダンス	第16回 文型の復習
第2回 発音の復習	第17回 第7課
第3回 第1課	第18回 第7課
第4回 第1課	第19回 第8課
第5回 第2課	第20回 第8課
第6回 第2課	第21回 第9課
第7回 第3課	第22回 第9課
第8回 第3課	第23回 第10課
第9回 第4課	第24回 第11課
第10回 第4課	第25回 第12課
第11回 第5課	第26回 第13課
第12回 第5課	第27回 第14課
第13回 第6課	第28回 第15課
第14回 第6課	第29回 検定試験過去問
第15回 まとめ	第30回 まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は学習内容が理解できているかを「問題」を解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀨正道・陳祖？『時事中国語の教科書』朝日出版

その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	外国語（中国語）		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （中国語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉。中国語のステップアップを目指します。

科目の概要

中国語検定試験4級（初級終了レベル）合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

- 1．正しい発音でピンインが読める
- 2．テキストの例文がきちんと理解できる
- 3．簡体字に習熟する
- 4．長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。

内容

第1回	ガイダンス	第16回	文型の復習
第2回	発音の復習	第17回	第7課
第3回	第1課	第18回	第7課
第4回	第1課	第19回	第8課
第5回	第2課	第20回	第8課
第6回	第2課	第21回	第9課
第7回	第3課	第22回	第9課
第8回	第3課	第23回	第10課
第9回	第4課	第24回	第11課
第10回	第4課	第25回	第12課
第11回	第5課	第26回	第13課
第12回	第5課	第27回	第14課
第13回	第6課	第28回	第15課
第14回	第6課	第29回	検定試験過去問
第15回	まとめ	第30回	まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は学習内容が理解できているかを「問題」を解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀧正道・陳祖？『時事中国語の教科書』朝日出版

その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	外国語（中国語）		
担当教員名	山本 賢二		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （中国語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉。中国語のステップアップを目指します。

科目の概要

中国語検定試験4級（初級終了レベル）合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

- 1．正しい発音でピンインが読める
- 2．テキストの例文がきちんと理解できる
- 3．簡体字に習熟する
- 4．長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。

内容

第1回	ガイダンス	第16回	文型の復習
第2回	発音の復習	第17回	第7課
第3回	第1課	第18回	第7課
第4回	第1課	第19回	第8課
第5回	第2課	第20回	第8課
第6回	第2課	第21回	第9課
第7回	第3課	第22回	第9課
第8回	第3課	第23回	第10課
第9回	第4課	第24回	第11課
第10回	第4課	第25回	第12課
第11回	第5課	第26回	第13課
第12回	第5課	第27回	第14課
第13回	第6課	第28回	第15課
第14回	第6課	第29回	検定試験過去問
第15回	まとめ	第30回	まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は学習内容が理解できているかを「問題」を解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀨正道・陳祖？『時事中国語の教科書』朝日出版

その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	外国語（中国語）		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （中国語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉。中国語のステップアップを目指します。

科目の概要

中国語検定試験4級（初級終了レベル）合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

- 1．正しい発音でピンインが読める
- 2．テキストの例文がきちんと理解できる
- 3．簡体字に習熟する
- 4．長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。

内容

第1回 ガイダンス	第16回 文型の復習
第2回 発音の復習	第17回 第7課
第3回 第1課	第18回 第7課
第4回 第1課	第19回 第8課
第5回 第2課	第20回 第8課
第6回 第2課	第21回 第9課
第7回 第3課	第22回 第9課
第8回 第3課	第23回 第10課
第9回 第4課	第24回 第11課
第10回 第4課	第25回 第12課
第11回 第5課	第26回 第13課
第12回 第5課	第27回 第14課
第13回 第6課	第28回 第15課
第14回 第6課	第29回 検定試験過去問
第15回 まとめ	第30回 まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は学習内容が理解できているかを「問題」を解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀨正道・陳祖？『時事中国語の教科書』朝日出版

その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	外国語（中国語）		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （中国語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉。中国語のステップアップを目指します。

科目の概要

中国語検定試験4級（初級終了レベル）合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

- 1．正しい発音でピンインが読める
- 2．テキストの例文がきちんと理解できる
- 3．簡体字に習熟する
- 4．長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。

内容

第1回	ガイダンス	第16回	文型の復習
第2回	発音の復習	第17回	第7課
第3回	第1課	第18回	第7課
第4回	第1課	第19回	第8課
第5回	第2課	第20回	第8課
第6回	第2課	第21回	第9課
第7回	第3課	第22回	第9課
第8回	第3課	第23回	第10課
第9回	第4課	第24回	第11課
第10回	第4課	第25回	第12課
第11回	第5課	第26回	第13課
第12回	第5課	第27回	第14課
第13回	第6課	第28回	第15課
第14回	第6課	第29回	検定試験過去問
第15回	まとめ	第30回	まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は学習内容が理解できているかを「問題」を解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀨正道・陳祖？『時事中国語の教科書』朝日出版

その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	外国語（中国語）		
担当教員名	山本 賢二		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （中国語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉。中国語のステップアップを目指します。

科目の概要

中国語検定試験4級（初級終了レベル）合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

- 1．正しい発音でピンインが読める
- 2．テキストの例文がきちんと理解できる
- 3．簡体字に習熟する
- 4．長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。

内容

第1回	ガイダンス	第16回	文型の復習
第2回	発音の復習	第17回	第7課
第3回	第1課	第18回	第7課
第4回	第1課	第19回	第8課
第5回	第2課	第20回	第8課
第6回	第2課	第21回	第9課
第7回	第3課	第22回	第9課
第8回	第3課	第23回	第10課
第9回	第4課	第24回	第11課
第10回	第4課	第25回	第12課
第11回	第5課	第26回	第13課
第12回	第5課	第27回	第14課
第13回	第6課	第28回	第15課
第14回	第6課	第29回	検定試験過去問
第15回	まとめ	第30回	まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は学習内容が理解できているかを「問題」を解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀨正道・陳祖？『時事中国語の教科書』朝日出版

その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	外国語（中国語）		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （中国語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉。中国語のステップアップを目指します。

科目の概要

中国語検定試験4級（初級終了レベル）合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

- 1．正しい発音でピンインが読める
- 2．テキストの例文がきちんと理解できる
- 3．簡体字に習熟する
- 4．長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。

内容

第1回	ガイダンス	第16回	文型の復習
第2回	発音の復習	第17回	第7課
第3回	第1課	第18回	第7課
第4回	第1課	第19回	第8課
第5回	第2課	第20回	第8課
第6回	第2課	第21回	第9課
第7回	第3課	第22回	第9課
第8回	第3課	第23回	第10課
第9回	第4課	第24回	第11課
第10回	第4課	第25回	第12課
第11回	第5課	第26回	第13課
第12回	第5課	第27回	第14課
第13回	第6課	第28回	第15課
第14回	第6課	第29回	検定試験過去問
第15回	まとめ	第30回	まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は学習内容が理解できているかを「問題」を解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀆正道・陳祖？『時事中国語の教科書』朝日出版

その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	外国語（中国語）		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （中国語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉。中国語のステップアップを目指します。

科目の概要

中国語検定試験4級（初級終了レベル）合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

- 1．正しい発音でピンインが読める
- 2．テキストの例文がきちんと理解できる
- 3．簡体字に習熟する
- 4．長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。

内容

第1回 ガイダンス	第16回 文型の復習
第2回 発音の復習	第17回 第7課
第3回 第1課	第18回 第7課
第4回 第1課	第19回 第8課
第5回 第2課	第20回 第8課
第6回 第2課	第21回 第9課
第7回 第3課	第22回 第9課
第8回 第3課	第23回 第10課
第9回 第4課	第24回 第11課
第10回 第4課	第25回 第12課
第11回 第5課	第26回 第13課
第12回 第5課	第27回 第14課
第13回 第6課	第28回 第15課
第14回 第6課	第29回 検定試験過去問
第15回 まとめ	第30回 まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は学習内容が理解できているかを「問題」を解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀨正道・陳祖？『時事中国語の教科書』朝日出版

その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	外国語（中国語）		
担当教員名	山本 賢二		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （中国語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉。中国語のステップアップを目指します。

科目の概要

中国語検定試験4級（初級終了レベル）合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

- 1．正しい発音でピンインが読める
- 2．テキストの例文がきちんと理解できる
- 3．簡体字に習熟する
- 4．長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。

内容

第1回	ガイダンス	第16回	文型の復習
第2回	発音の復習	第17回	第7課
第3回	第1課	第18回	第7課
第4回	第1課	第19回	第8課
第5回	第2課	第20回	第8課
第6回	第2課	第21回	第9課
第7回	第3課	第22回	第9課
第8回	第3課	第23回	第10課
第9回	第4課	第24回	第11課
第10回	第4課	第25回	第12課
第11回	第5課	第26回	第13課
第12回	第5課	第27回	第14課
第13回	第6課	第28回	第15課
第14回	第6課	第29回	検定試験過去問
第15回	まとめ	第30回	まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は学習内容が理解できているかを「問題」を解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀨正道・陳祖？『時事中国語の教科書』朝日出版

その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	外国語（日本語）		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （日本語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（2年次学生）のための日本語授業で、四技能（「読む」「書く」「話す」「聞く」）の力をさらに高めることを目標に学習します。1年次履修の「外国語」を踏まえてこの科目を理解することが必要になります。

科目の概要

さまざまなスタイルの文章（新聞・エッセイ・論説文・説明文・小説など）を読み取り、それに基づいて自分の考えや意見を口頭および文章で的確に表現する力をつけていきます。また、正確に内容を理解できるように、構文・文法・語彙・表現の学習をあわせて行います。

学修目標

この科目を修了するために、以下のことに注意して出席することが求められます。

1. 授業に必ず出席し、取り上げられるテーマについて文章を読んで内容を理解し、課題がこなせるようにする。
2. テーマについて考え、自分の意見を進んで述べ、授業に参加する。（出席するだけでなく、積極的に参加する）
3. 授業中に提示される課題・課題の提出物は、評価の対象となるので積極的に取り組む。

内容

授業は毎回、本文読解、文構造・語彙・表現の解説、文型の用法説明・練習を中心に進めていきます。また、教材のテーマについての意見交換や、要約文・感想文など書く練習もまとめとして行います。

第1回	前期授業のガイダンス・日本語総合力の測定
第2回～4回	新聞記事の読解
第5回～9回	説明文・論説文の読解
第10回～13回	エッセイ・小説の読解
第14回	まとまった長さの文章を書く ・復習（文法の弱点補強、語彙の確認など）
第15回	前期授業のまとめ
第16回	後期授業のガイダンス・日本語総合力の測定
第17回～20回	説明文、評論・論説文の読解
第21・22回	エッセイの読解
第23回	まとまった長さの文章を書く ・復習（文法の弱点補強、語彙の確認など）
第24回～26回	文学作品を読む
第27回～29回	さまざまな分野の読み物を用いた読解練習
第30回	後期授業のまとめ

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点

以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】

第1回目の授業で指示します。

科目名	外国語（日本語）		
担当教員名	前田 庸子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （日本語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（2年次学生）のための日本語授業で、四技能（「読む」「書く」「話す」「聞く」）の力をさらに高めることを目標に学習します。1年次履修の「外国語」を踏まえてこの科目を理解することが必要になります。

科目の概要

さまざまなスタイルの文章（新聞・エッセイ・論説文・説明文・小説など）を読み取り、それに基づいて自分の考えや意見を口頭および文章で的確に表現する力をつけていきます。また、正確に内容を理解できるように、構文・文法・語彙・表現の学習をあわせて行います。

学修目標

この科目を修了するために、以下のことに注意して出席することが求められます。

1. 授業に必ず出席し、取り上げられるテーマについて文章を読んで内容を理解し、課題がこなせるようにする。
2. テーマについて考え、自分の意見を進んで述べ、授業に参加する。（出席するだけでなく、積極的に参加する）
3. 授業中に提示される課題・課題の提出物は、評価の対象となるので積極的に取り組む。

内容

授業は毎回、本文読解、文構造・語彙・表現の解説、文型の用法説明・練習を中心に進めていきます。また、教材のテーマについての意見交換や、要約文・感想文など書く練習もまとめとして行います。

第1回	前期授業のガイダンス・日本語総合力の測定
第2回～4回	新聞記事の読解
第5回～9回	説明文・論説文の読解
第10回～13回	エッセイ・小説の読解
第14回	まとまった長さの文章を書く ・復習（文法の弱点補強、語彙の確認など）
第15回	前期授業のまとめ
第16回	後期授業のガイダンス・日本語総合力の測定
第17回～20回	説明文、評論・論説文の読解
第21・22回	エッセイの読解
第23回	まとまった長さの文章を書く ・復習（文法の弱点補強、語彙の確認など）
第24回～26回	文学作品を読む
第27回～29回	さまざまな分野の読み物を用いた読解練習
第30回	後期授業のまとめ

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点

以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】

第1回目の授業で指示します。

科目名	外国語（日本語）		
担当教員名	小田 明子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （日本語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（2年次学生）のための日本語授業で、四技能（「読む」「書く」「話す」「聞く」）の力をさらに高めることを目標に学習します。1年次履修の「外国語」を踏まえてこの科目を理解することが必要になります。

科目の概要

さまざまなスタイルの文章（新聞・エッセイ・論説文・説明文・小説など）を読み取り、それに基づいて自分の考えや意見を口頭および文章で的確に表現する力をつけていきます。また、正確に内容を理解できるように、構文・文法・語彙・表現の学習をあわせて行います。

学修目標

この科目を修了するために、以下のことに注意して出席することが求められます。

1. 授業に必ず出席し、取り上げられるテーマについて文章を読んで内容を理解し、課題がこなせるようにする。
2. テーマについて考え、自分の意見を進んで述べ、授業に参加する。（出席するだけでなく、積極的に参加する）
3. 授業中に提示される課題・課題の提出物は、評価の対象となるので積極的に取り組む。

内容

授業は毎回、本文読解、文構造・語彙・表現の解説、文型の用法説明・練習を中心に進めていきます。また、教材のテーマについての意見交換や、要約文・感想文など書く練習もまとめとして行います。

第1回	前期授業のガイダンス・日本語総合力の測定
第2回～4回	新聞記事の読解
第5回～9回	説明文・論説文の読解
第10回～13回	エッセイ・小説の読解
第14回	まとまった長さの文章を書く ・復習（文法の弱点補強、語彙の確認など）
第15回	前期授業のまとめ
第16回	後期授業のガイダンス・日本語総合力の測定
第17回～20回	説明文、評論・論説文の読解
第21・22回	エッセイの読解
第23回	まとまった長さの文章を書く ・復習（文法の弱点補強、語彙の確認など）
第24回～26回	文学作品を読む
第27回～29回	さまざまな分野の読み物を用いた読解練習
第30回	後期授業のまとめ

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：30% 筆記試験：70% とし、総合評価60点

以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】

第1回目の授業で指示します。

科目名	外国語（日本語）		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （日本語）		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

留学生（3年次学生）のための日本語授業で、4つの技能（「読む」「書く」「聞く」「話す」）にわたり、上級段階の日本語を学びます。1年次履修の「外国語」、2年次履修の「外国語」を踏まえて、この科目を理解することが必要になります。

科目の概要

毎回、さまざまな分野から文章を選び、文法・読解学習を通して、自分の考えを口頭で、あるいは文章により、相手に適切に伝える練習を行います。授業では、身近な話題から初めて接するような話題まで、テーマを幅広く取り上げていきます。抽象的なテーマについても、自分の考えがうまく伝えられるようになることを目標に授業を進めます。

学修目標

この授業を修了するためには、授業中に課される課題を授業時間内で完成させ、できるだけ進んで自分の考えを表現していくことが求められます。

- 1 授業に出席し、問題となるテーマについて講義を受ける。
- 2 テーマを理解するための課題・構文練習を完成させ、意見交換を行う。
- 3 テーマ理解を深めるため、まとまった長さの文章を読み、日本語表現をさらに習得する。

内容

第1回	前期授業のガイダンス・日本語総合力の測定
第2回～第4回	読解 指示することばに注意する（短文）（中文）（長文）
第5回～第7回	読解 文のつながりに留意して読む（短文）（中文）（長文）
第8回	まとまった長さの文章を書く（教材からテーマを選んで意見文を書く）
第9回～第11回	読解 予測・推測をして文を読む（短文）（中文）（長文）
第12回～第14回	読解 文章の組み立てを考えて読む（短文）（中文）（長文）
第15回	前期のまとめ
第16回	後期授業のガイダンス・日本語総合力の測定
第17回～第19回	読解 新聞記事を読む
第20回～第22回	読解 エッセーを読む
第23回	まとまった長さの文章を書く（教材からテーマを選んで意見文を書く）
第24回～第26回	読解 説明文を読む
第27回～第29回	読解 意見文・論説文を読む
第30回	後期のまとめ

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：30% 筆記試験：70% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】

第1回目の授業で指示します。

科目名	外国語（日本語）		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （日本語）		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

留学生（4年次学生）のための日本語授業で、4つの技能（「読む」「書く」「聞く」「話す」）にわたり、上級段階の日本語を学びます。1年次履修の「外国語」、2年次履修の「外国語」、3年次履修の「外国語」を踏まえて、この科目を理解することが必要になります。

科目の概要

毎回、さまざまな分野から文章を選び、文法・読解学習を通して、自分の考えを口頭で、あるいは文章により、相手に適切に伝える練習を行います。授業では、身近な話題から初めて接するような話題まで、テーマを幅広く取り上げていきます。大学での日本語学習の総仕上げとして、抽象的なテーマについても、自分の考えがうまく伝えられるようになることを目標に授業を進めます。

学修目標

この授業を修了するためには、授業中に課される課題を授業時間内で完成させ、できるだけ進んで自分の考えを表現していくことが求められます。

- 1 授業に出席し、問題となるテーマについて講義を受ける。
- 2 テーマを理解するための課題・構文練習を完成させ、意見交換を行う。
- 3 テーマ理解を深めるため、まとまった長さの文章を読み、日本語表現をさらに習得する。

内容

第1回	前期授業のガイダンス・日本語総合力の測定
第2回～第4回	読解 上級段階以上の読解資料を用い、特に指示語に着目し内容の確認を行う。
第5回～第7回	読解 難易度の高い文章を用い、文のつながりに留意して読む。
第8回	まとまった長さの文章を書く（教材からテーマを選んで意見文を書く）
第9回～第11回	読解 予測・推測をして難易度の高い文を読む。
第12回～第14回	読解 様々な内容の文章の組み立てを考えて読む。
第15回	前期のまとめ
第16回	後期授業のガイダンス・日本語総合力の測定
第17回～第19回	読解 新聞記事を読む
第20回～第22回	読解 エッセーを読む
第23回	まとまった長さの文章を書く（教材からテーマを選んで意見文を書く）
第24回～第26回	読解 説明文を読む
第27回～第29回	読解 意見文・論説文を読む
第30回	後期のまとめ

評価

毎回の 平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価
60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】添削された提出物について復習を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】

第1回目の授業で指示します。

科目名	外国語 (英語)		
担当教員名	柿元 資子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 外国語 ~ (英語)		
学 年	4	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

「外国語 I (英語)」を履修した学生を対象とします。「外国語 I (英語)」で養成した基本知識を活用し、英語力を向上させながら更なるレベルアップを目指します。

高度なリスニングとリーディングに触れ、併せて課題・ディスカッション等を通して英語発信力(書く・話すことによる表現力)も高めていくことを目標とし、総合的な英語力を伸ばしていきます。

内容

1回 前期コース紹介、自己紹介アクティビティー等

2,3回 Unit 1 Living for work

4,5回 Unit 2 Good times, good feelings

6回 口頭発表 (self-introduction)

7,8回 Unit 3 Treasures from the past

9回 Review、内容確認

10,11回 Unit 4 Weather and climate

12,13回 Unit 5 Focus on food

14回 Review、内容確認

15回 前期まとめ

16回 前期内容確認、後期コース紹介

17,18回 Unit 6 Housing

19,20回 Unit 7 Exploring space

21回 口頭発表

22,23回 Unit 8 Art and music

24回 Review、内容確認

25,26回 Unit 9 Our relationship with nature

27,28回 Unit 10 How we communicate

29回 Review、内容確認

30回 後期まとめ

評価

(1)2/3以上の授業参加が必要。(2)授業への参加度・課題を20%、テスト80% 総合評価60点以上が合格ライン。(3) Mid-term testとFinal test (定期試験) 欠席の際は必ず証明が必要。それ以外の欠席は認められず、単位取得は不可能。

授業外学習

課題は、主にDVDの聞き取り問題や英作文など。(毎回出されます。)また、e-learning機能が設定されているため、そちらを活用した自主学习。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Pathways 1 (Cengage Learning): Becky Tarver Chase/Keith S. Folse

科目名	外国語（英語）		
担当教員名	グロリアプロフィラト		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （英語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

This class will introduce and familiarize students with new vocabulary and in particular common idioms used in everyday conversation.

科目の概要

Emphasis will be placed on reviewing weak grammar, intonation and pronunciation.

学修目標（=到達目標）

Students will practice the new idioms through a variety of activities, such as role playing.

内容

Introduction. Textbook and course explanation.

Please get rid of that smell.

Red in the face.

Heart patient walks home.

Businessman freaks out.

Toy saves man's life.

Hat lady wants to cheer you up.

Bear goes on vacation.

Man hangs on for dear life.

Neighbours fed up with loud music.

Prison escape is easy as pie.

Smart pig saves the day.

Lazy mailman hides letters.

Girl wants more body art.

One in a million.

評価

総合評価60点以上を合格とする。Attendance and participation 20%, original conversations 40%, Vocabulary/idiom tests, homework 40%

授業外学習

【事前準備】 Read and check difficult vocabulary. Review unit. Do homework prints.

【事後学修】 Sentence writing (Homework)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 CAN YOU BELIEVE IT? Book 1. OXFORD (Jann Huizenga)

科目名	外国語 (英語)		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 外国語 ~ (英語)		
学 年	4	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

The aim of this intermediate-level English course is to give students a lot of practice communicating in English on a variety of everyday topics. The course includes vocabulary development, short listening, reading, and writing tasks, in addition to speaking practice.
(英語の総合力を付けたい人に)

科目の概要

Two class periods will focus on one topic. Students will work in pairs and groups, exchanging experiences, interests, and opinions.
(ペアワークなどを通してコミュニケーション力まで広げます)

学修目標 (= 到達目標)

Upon completion of this course, students should be able to form and respond to basic questions on the topics covered, have overall improved vocabulary, pronunciation, fluency, and listening skills in English.
(英語を自発的に使えるようになるという目標です)

内容

- 1 Course Overview, Introductions, Unit 1 (Meeting people)
- 2 Unit 1 (Expressing prohibition, Part 2)
- 3 Unit 2 (Expressing Obligation)
- 4 Unit 2 (Announcing News, Part 2)
- 5 Quiz, Units 1,2; Unit 3 (Routines and schedules)
- 6 Unit 3 (Routines and schedules, Part 2)
- 7 Unit 4 (Locations, rooms)
- 8 Unit 4 (Locations, rooms Part 2)
- 9 Quiz, Units 3,4; Unit 5 (Giving directions)
- 10 Unit 5 (Giving directions, Part 2)
- 11 Unit 6 (Talking about the past)
- 12 Unit 6 (Talking about the past, Part 2)
- 13 Quiz, Units 5,6; Review Units 1-6
- 14 Written and Speaking Review - Units 1-6
- 15 Wrap-up

1	Course Overview, Introductions, Unit 1 (Meeting people)
2	Unit 1 (Expressing prohibition, Part 2)
3	Unit 2 (Expressing Obligation)
4	Unit 2 (Announcing News, Part 2)
5	Quiz, Units 1,2; Unit 3 (Routines and schedules)
6	Unit 3 (Routines and schedules, Part 2)
7	Unit 4 (Locations, rooms)
8	Unit 4 (Locations, rooms Part 2)
9	Quiz, Units 3,4; Unit 5 (Giving directions)
10	Unit 5 (Giving directions, Part 2)
11	Unit 6 (Talking about the past)
12	Unit 6 (Talking about the past, Part 2)
13	Quiz, Units 5,6; Review Units 1-6
14	Written and Speaking Review - Units 1-6
15	Wrap-up

評価

Students will be evaluated on participation (積極的取組25%), homework (課題25%), written tests (試験20%), final speaking test (最終試験30%).

授業外学習

【事前予習】 Students will be assigned some light homework each week. 指定箇所の予習

【事後学修】 Students will be expected to study and review after each class and prepare for quizzes and tests. 指定箇所の復習

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】 Four Corners 3 (Jack Richards. David Bohlke, Cambridge University press)

科目名	外国語（英語）		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ~（英語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格 この科目は「共通科目」のうちの「選択科目」です。

科目の概要 近年、外国において日本文化への興味が飛躍的に拡がり、日本人にも英語による発信力がますます求められています。この授業では、様々な日本文化の側面が英語で書かれた素材をもとに、リーディング力のみならず、リスニング・スピーキング力を養います。

学修目標（=到達目標）さまざまな日本文化の側面について、比較的平易な英文で書かれている英語テキストを理解し、あらためて日本文化についての知識を得ること。さらに、比較的平易な英語で日本文化について発信できるようになること。

内容

【前期】

第1週	Introduction
第2・3週	Japanese Cuisine 日本食
第4・5週	Tokyo 東京
第6・7週	Japan's Four Seasons 日本の四季
第8・9週	Annual Events in Japan 日本の年中行事
第10・11週	Japanese Housing 日本の住居
第12・13週	Religion in Japan 日本の宗教
第14・15週	まとめ

【後期】

第1・2週	Japanese Way of Life 日本人の生き方
第3・4週	Japanese Women 日本の女性
第5・6週	World Heritage in Japan 日本の世界遺産
第7・8週	Japanese Language 日本語
第9・10週	Marriage in Japan 日本の結婚
第11・12週	Kawaii Going Global 世界に広がるカワイイ
第13・14週	Japanese School System 日本の学校制度
第15週	まとめ

評価

毎回の課題（50％）、前期・後期定期試験（50％）をもとに評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】指定された英文テキストを読み、大まかな理解を得ておくこと。

【事後学修】指定されたリスニング練習をし、語彙力もしっかり身につけること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを使用します。教科書は不要です。

科目名	外国語（英語）		
担当教員名	榊原 理枝子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-共通科目-外国語 ～ （英語）		
学 年	4	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

（科目の性格）この科目は共通科目の外国語科目のうちの選択科目です。この科目を選択した場合は「自由科目」の枠に入ります。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、「外国語Ⅰ（英語）」、「外国語Ⅳ（英語）」を選択してください。なお、英語教職課程履修者はこの科目を必ず履修してください。（2）「外国語Ⅱ～Ⅳ（英語）」の履修の順は自由です。また、これら科目のⅡ～Ⅳはレベルではなく種類の違いです。同一学年に2科目以上履修しても構いませんし、卒業までにこれら科目を何科目履修しても構いません。（3）この科目は通年科目ですので、後期の同じ時間帯に所属学科の専門科目などが入っていないか確認してから履修してください。

（科目の概要）・（学修目標）英語の力を総合的に高めてもらいます。できるだけ多くの英文を読んだり、聞いたりして、英語読解力、聴解力を伸ばすことを目標とします。また、話す力、書く力などの英語表現力を付けることも目指します。

内容

（授業の方針）(1)学生に発言してもらいつつ授業を進めますから、何でも臆せず質問してください。そのうえで、学生の関心などにより、以下の授業進行予定を変更することがあります。学生の希望はできるだけ授業に反映させます。希望や必要に応じて、基本的なことから発展的なことまでやる予定。(2)就活など正当な欠席の場合、証明が必要。(3)出席不足などで単位取得が危うくなってから課題等で救済というのは本人のためにならないのでいけません。(4)中間、定期試験、小テスト等は採点して返却。定期試験は最後から2番目の週に実施、最終週は返却、解説。定期試験だけではなく返却解説も欠席不可。(5)ポータルで授業に関する連絡をするのでポータルは常に確認してください。(6)詳細は初回にプリントを配付しますから参照してください。

（授業内容）『ハリー・ポッター』、『クマのプーさん』、『ピーター・ラビット』、『ブリジット・ジョーンズの日記』など、著名な物語、映画などに登場する「食」に注目するという教科書を使い、関連する映画などを見ます。相当量の英語を読んで聞くことになり、真剣に取り組めばかなり英語力がつくので、結果的にTOEIC等にも役立ちます。また、苦手な英語を克服したいという人も、映画などを使うので、楽しく勉強できると思います。

（授業進行予定） 前期 (1)オリエンテーション(2)ハリー・ポッターと蛙チョコレート(3)Itの構文(4)ピーターラビットとパイ(5)品詞(6)ピーター・ラビットのお母さんとハーブティー(7)分詞構文(8)クマのプーさんと蜂蜜(9)使役動詞(10)『あしながおじさん』とアイスクリーム(11)接続詞(12)宮沢賢治とトマト / 否定(13)オー・ヘンリーと「魔女のパン」 / 比較 (14)(15)前期総復習・まとめ 後期 (1)前期の復習(2)老人と魚とヘミングウェイ(3)完了形(4)スタインベック『エデンの東』とレタスの輸送/動名詞(5)『大草原の小さな家』とチーズ作り(6)仮定法(7)ティファニーで朝食を(8)関係詞(9)ラフカディオ・ハーンと「ムジナ」と「ソバ」 / 不定詞(10)『プライドと偏見』、ブリジット・ジョーンズとダイエット(11)助動詞(12)アガサ・クリスティとリンゴ(13)受動態 (14)(15)後期総復習・まとめ

評価

(1)発言等の授業参加、事前・事後学修、課題、小テスト等平常点を50%、中間、定期試験50%で、総合評価60点以上が合格。（テスト類は採点して返却）(2)合格点に満たなければ再試験。(3)中間、定期試験は証明がないと欠席

不可。(4)中間、定期試験欠席の際は授業開始時刻までに指定したアドレスにメールがないと単位は無理。

授業外学習

(事前学修)宿題として指定した箇所(リスニング、読解、語彙、文法などの練習問題など)をやってきてもらいます。毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)(事後学修)授業で学習した箇所の復習(授業で学習した箇所を音声を聞いて自分で発音する。授業で出てきた語句を辞書で再確認し、覚える。その他、宿題として課すものをやる。)毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書)Minami、田口、本山、『A Taste of English: Food and Fiction
フィクションにみる食文化』(無料音声ダウンロードサービス付き)(朝日出版社、1700円、フジショップ扱い)+プリント等。(辞書)辞書はお持ちの物を初回から持って来てください。スマホ等による代用禁止。(授業中はスマホ等はしまってもらいます。授業に集中してもらうためです。)辞書をこれから購入する予定の場合、初回以降に購入でも構いません。失敗を防ぐためです。(推薦書)授業で適宜紹介。

科目名	外国語 (英語)		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 外国語 ~ (英語)		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

The aim of this intermediate-level English course is to give students a lot of practice communicating in English on a variety of everyday topics. The course includes vocabulary development, short listening, reading, and writing tasks, in addition to speaking practice.
(英語の総合力を付けたい人に)

科目の概要

Two class periods will focus on one topic. Students will work in pairs and groups, exchanging experiences, interests, and opinions.
(ペアワークなどを通してコミュニケーション力まで広げます)

学修目標 (= 到達目標)

Upon completion of this course, students should be able to form and respond to basic questions on the topics covered, have overall improved vocabulary, pronunciation, fluency, and listening skills in English.
(英語を自発的に使えるようになるという目標です)

内容

1	Course Overview, Introductions, Unit 1 (Meeting people)
2	Unit 1 (Expressing prohibition, Part 2)
3	Unit 2 (Expressing Obligation)
4	Unit 2 (Announcing News, Part 2)
5	Quiz, Units 1,2; Unit 3 (Routines and schedules)
6	Unit 3 (Routines and schedules, Part 2)
7	Unit 4 (Locations, rooms)
8	Unit 4 (Locations, rooms Part 2)
9	Quiz, Units 3,4; Unit 5 (Giving directions)
10	Unit 5 (Giving directions, Part 2)
11	Unit 6 (Talking about the past)
12	Unit 6 (Talking about the past, Part 2)
13	Quiz, Units 5,6; Review Units 1-6
14	Written and Speaking Review - Units 1-6

評価

Students will be evaluated on participation (積極的取組25%), homework (課題25%), written tests (試験20%), final speaking test (最終試験30%).

授業外学習

【事前予習】 Students will be assigned some light homework each week. 指定箇所の予習

【事後学修】 Students will be expected to study and review after each class and prepare for quizzes and tests. 指定箇所の復習

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】 Four Corners 3 (Jack Richards. David Bohlke, Cambridge University press)

科目名	外国語 (英語)		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 共通科目 - 外国語 ~ (英語)		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

The aim of this intermediate-level English course is to give students a lot of practice communicating in English on a variety of everyday topics. The course includes vocabulary development, short listening, reading, and writing tasks, in addition to speaking practice.
(英語の総合力を付けたい人に)

科目の概要

Two class periods will focus on one topic. Students will work in pairs and groups, exchanging experiences, interests, and opinions.
(ペアワークなどを通してコミュニケーション力まで広げます)

学修目標 (= 到達目標)

Upon completion of this course, students should be able to form and respond to basic questions on the topics covered, have overall improved vocabulary, pronunciation, fluency, and listening skills in English.
(英語を自発的に使えるようになるという目標です)

内容

1	Course Overview, Introductions, Unit 1 (Meeting people)
2	Unit 1 (Expressing prohibition, Part 2)
3	Unit 2 (Expressing Obligation)
4	Unit 2 (Announcing News, Part 2)
5	Quiz, Units 1,2; Unit 3 (Routines and schedules)
6	Unit 3 (Routines and schedules, Part 2)
7	Unit 4 (Locations, rooms)
8	Unit 4 (Locations, rooms Part 2)
9	Quiz, Units 3,4; Unit 5 (Giving directions)
10	Unit 5 (Giving directions, Part 2)
11	Unit 6 (Talking about the past)
12	Unit 6 (Talking about the past, Part 2)
13	Quiz, Units 5,6; Review Units 1-6
14	Written and Speaking Review - Units 1-6

評価

Students will be evaluated on participation (積極的取組25%), homework (課題25%), written tests (試験20%), final speaking test (最終試験30%).

授業外学習

【事前予習】 Students will be assigned some light homework each week. 指定箇所の予習

【事後学修】 Students will be expected to study and review after each class and prepare for quizzes and tests. 指定箇所の復習

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】 Four Corners 3 (Jack Richards. David Bohlke, Cambridge University press)